

## 第3回 東京 2020 大会開催都市本部会議 次第

令和3年9月17日（金）11時45分から  
都庁第一本庁舎7階特別会議室（庁議室）

○ 開会

○ 議事

1 東京 2020 大会の報告について

2 パラリンピック競技大会における学校連携観戦の報告について

【生活文化局・教育庁】

3 東京 2020 大会組織委員会からの報告について

○ 意見交換

○ 開催都市本部長 発言

○ 閉会

## 1 東京 2020 大会がもたらした価値

- 東京 2020 大会の参加選手は、オリンピックでは、過去最多と並ぶ 205 の国・地域、約 11,000 人、パラリンピックでは、リオ大会を上回る 162 の国・地域、約 4,400 人となりました。
- 選手のパフォーマンスも高く、オリンピックで 26 個、パラリンピックで 157 個の世界新記録が誕生しました。
- 多様性あふれる大会であり、性的マイノリティの選手も多く出場し活躍しました。
- 日本人選手も活躍し、メダル数は、オリンピックでは過去最多の 58 個、パラリンピックで過去 2 番目の 51 個という成績を残しました。
- この大会は、コロナによって分断された世界をスポーツの力で一つにし、世界中の人々に勇気と希望をお届けすることができました。

## 2 安全・安心な大会開催

- コロナ禍において安全・安心な大会とするため、プレイブックによる水際対策の徹底や、行動管理、検査の実施などの対策を講じました。
- これらの取組により、大会期間中で、陽性率は、空港検疫検査で、0.1%、スクリーニング検査で、0.03%と低く抑えられています。
- ピーク時においても都内における訪日大会関係者の入院者数は 2 名、宿泊療養施設入所者数は 49 名でした。
- 専門家からは「大会は安全に行われた」、「バブルや選手村での検査がうまく機能した」と評価をいただきました。

## 3 安全・安心な大会開催・実効再生産数の推移

- 大会時には、TDM等によって、交通量や人流の抑制も図られました。
- 1 人の感染者から何人に感染が広がるかを示す「実効再生産数」でも、6 月には 1 を超え、上昇が続いていましたが、開会日前日の 7 月 22 日をピークに、下落に転じています。
- この大会で得た様々な経験を、「多様な人が支えあう共生社会」、「SDG s を目指す持続可能な社会」の実現など、レガシーとして、未来の東京にしっかりとつないでまいります。

# 東京2020大会がもたらした価値

## 東京オリンピック

(7月23日～8月8日・33競技339種目)

過去最多と並ぶ**205**の国・地域と難民選手団  
合わせて選手約**1万1,000**人が参加

世界新記録が**26**個誕生

(2016年リオ大会25個を上回る水準)

性的マイノリティー（**LGBTQ**）であることを明かして参加する選手の数が、

過去最多の**182**人に(2016年リオ大会の3倍)

過去最多の**総メダル58**個を獲得

(これまでの最多は2016年リオ大会の41個)

## 東京パラリンピック

(8月24日～9月5日・22競技539種目)

リオ大会を上回る**162**の国・地域と難民選手団  
合わせて選手約**4,400**人が参加(選手数過去最多)

世界新記録が**157**個誕生

(パラリンピック新記録も299個誕生)

過去最多の**28**人に(2016年リオ大会の2倍)

過去**2番目**の**総メダル51**個を獲得

(過去最多は2004年アテネ大会の52個)

世界中から  
アスリートが参加

高いパフォーマンスを  
発揮

史上最も多様性  
あふれる大会

日本選手団の  
活躍

コロナによって分断された世界を、スポーツの力で一つにした大会

# 安全・安心な大会開催

## アスリート 大会関係者 の陽性状況

空港検疫検査  
(7/1~9/6)

大会前

大会前の  
陽性率想定：0.2%

実績

陽性率：0.10%  
54人(陽性者数)/54,236件以上(検査数)

スクリーニング  
検査  
(7/1~9/6)

繁華街等の  
スクリーニング  
陽性率：0.1%

陽性率：0.03%  
312人(陽性者数)/1,017,190件(検査数)  
(うち訪日大会関係者164人)

## アスリート 大会関係者 の療養状況

都内医療機関  
(入院)

大会前の想定  
(ピーク時)：8.5人

入院者数(ピーク時)：2人  
(訪日大会関係者)  
※ 都内医療機関は大会指定病院へ入院

都内宿泊療養施設

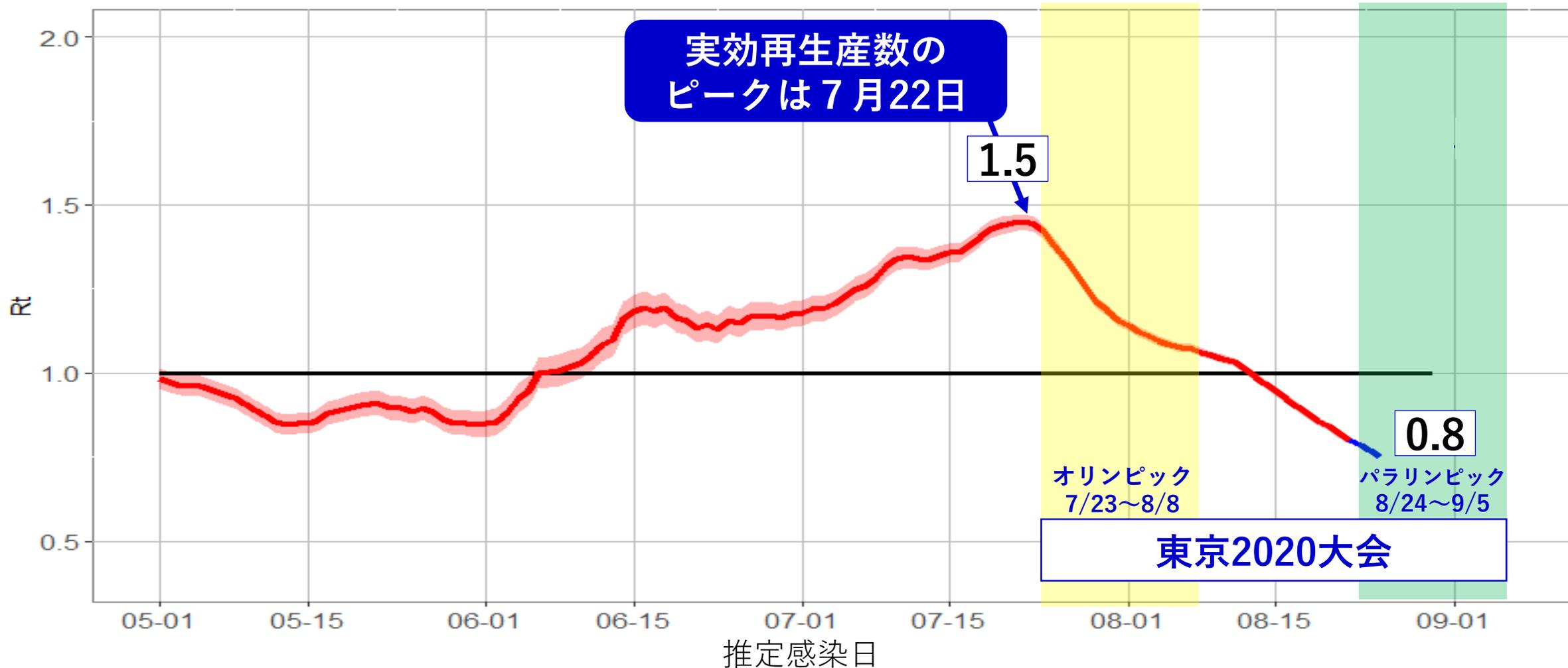
大会前の想定  
(ピーク時)：44.6人

入所者数(ピーク時)：49人  
(訪日大会関係者)  
※ 大会用に組織委が300室を準備  
余剰の部屋は都民用として活用

海外からのアスリート・大会関係者の陽性率等は当初想定を下回る水準

# 安全・安心な大会開催

実効再生産数の推移（厚生労働省アドバイザリーボード（9月8日会議資料）より）



東京の実効再生産数は7月22日をピークに下落傾向へ

# 東京2020大会の報告について（速報）

## I 東京2020大会の概要

### ○ オリンピック

- ・会 期：令和3年7月23日（金）～8月8日（日）【17日間】
- ・競 技 数：33競技（うち追加競技：野球・ソフトボール、空手、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィン）
- ・会 場 数：42会場（都内24会場、都外18会場）
- ・参加国等：205の国・地域及び難民選手団
- ・参加人数：選手11,259人（うち日本選手団583人）  
女性選手の割合約49%
- ・日本のメダル数：金27個、銀14個、銅17個
- ・観 客：無観客・東京・埼玉・千葉・神奈川・北海道・福島  
有観客・宮城・静岡・茨城（学校連携観戦のみ）（観客は43,300人）

### ○ パラリンピック

- ・会 期：令和3年8月24日（火）～9月5日（日）【13日間】
- ・競 技 数：22競技（うち新競技：バドミントン、テコンドー）
- ・会 場 数：21会場（都内15会場、都外6会場）
- ・参加国等：162の国・地域及び難民選手団
- ・参加人数：選手4,405人（うち日本選手団254人）  
女性選手の割合約42%
- ・日本のメダル数：金13個、銀15個、銅23個
- ・観 客：無観客  
[学校連携観戦] 東京・埼玉・千葉で実施（都内は参加10,543人）

## II 都の主な取組等

### ○ 都市オペレーションセンター（COC）

<大会運営に係る総合的な連絡調整>

- ・新型コロナウイルス関連情報、ライフライン、公衆衛生情報等を集約し、組織委員会メインオペレーションセンター（MOC）に共有するとともに、庁内への報告・関係者との共有を行った。
- ・COC支部を設置し、MOC内に連絡員を配置して、大会運営に関する情報を収集するとともに、本部・支部ともに24時間体制とし、ICTツールも活用しながら、切れ目ない情報集約及び連携を行った。



COC本部

<競技会場等周辺対応>

- ・学校連携観戦等競技会場周辺の対応として、会場周辺にCOC職員・シティキャストを配置し、学校連携におけるバス乗降場等から会場までの巡回・案内や、会場周辺における事案対応等を実施

## <パラリンピックマラソン>

・観客が密集しやすいエリアにおいて、COC職員・シティキャストを配置し、手持ちパネル等を活用しながら、観戦自粛と感染症対策の呼び掛けを実施



観戦自粛等の呼び掛け

## ○ 新型コロナウイルス感染症対策

組織委員会・都・国によるコロナ対策調整会議において、専門家も参画し水際対策、入国後の行動、健康管理の徹底などを幅広く議論を行い、その内容を大会関係者が守るべきルールとしてプレイブックに取りまとめ、下記の通り実効性のある感染症対策を実施

### 【水際対策】

- ・アスリート・大会関係者に対して、出国の14日前から健康観察を行うとともに、出国前に2回の検査、入国時にも検査を行うなど徹底した水際対策を実施

	検査数	陽性者数	検査数に占める陽性者数の割合
空港検疫検査 7/1~9/5	54,234件	54人	0.10%

### 【入国後検査・健康管理】

- ・アスリート等、大会関係者に対し、入国後3日間は、毎日のスクリーニング検査を行うとともに、アスリート等は原則毎日、大会関係者はアスリートとの接触レベルや役割等に応じて定期的に検査
- ・パラリンピック大会においては、選手村に従事する者をはじめとした大会関係者について、実施頻度を上げて検査

	検査数	陽性者数	検査数に占める陽性者数の割合
スクリーニング検査 7/1~9/5	1,008,479件	310人	0.03%

### 【行動管理】

- ・プレイブックに従い、滞在中の用務先を予め承認された行き先に限定し公共交通機関を使用しないなど、一般都民との接触を回避する厳格な行動管理を実施
- ・受入責任者（組織委員会）の責任の下、各所属組織にCLO（コロナ対策責任者）を配置し、各人の行動管理を実施
- ・違反行為については、組織委員会で厳正に対処

### 【陽性者発生時の対応】

- ・徹底した感染防止策を行った上でも、アスリート等に感染者が発生した場合の対応の仕組みとして、組織委員会感染症対策センター、東京2020大会保健衛生支援東京拠点を構築し、連携して対応

- ・東京2020大会保健衛生支援東京拠点は、選手村滞在アスリート等を対象とし、発生届受理、宿泊療養・搬送調整、積極的疫学調査等の業務を実施
- ・都内における選手、大会関係者の入院については、大会指定病院と予め受入れ調整を実施
- ・軽症、無症状の場合は、原則組織委員会が確保した宿泊療養施設を活用するなど、都の医療・療養体制への負担を抑制

<都内における訪日大会関係者（陽性者）の療養状況>

9月5日現在

	入院件数	宿泊療養施設等療養件数
アスリート等 ・大会関係者 計	6人 (ピーク時2人)	224人 (ピーク時49人)

○ 輸送

- ・交通需要マネジメント（TDM）、首都高速道路の料金施策、交通システムマネジメント（TSM）等を実施
- ・業界団体のご協力のもと、工事時期の調整や夜間への振替、搬入時間の変更等の工事調整を実施

・高速道路の交通量(概ね外環内側) 【2018年比速報値】

	オリンピック	パラリンピック
平日	12%減	15%減
休日	32%減	32%減

・一般道路の交通量(概ね外環内側) 【2018年比速報値】

	オリンピック	パラリンピック
平日	3%減	4%減
休日	7%減	7%減

・TDMの重点取組地区(16地区)の滞在人口(大会前の7月上旬比速報値)

	オリンピック	パラリンピック
平日の通勤時間帯	3%減	4%減
平日の日中時間帯	8%減	11%減
休日の通勤時間帯	1%減	2%減
休日の日中時間帯	9%減	9%減

- ・交通マネジメント（TDM、料金施策、TSM）などの適切な運用により、交通量が減少し、選手や大会関係者の円滑できめ細かい輸送サービスを実現



## ○ ボランティア

- ・大会で活動したシティキャスト(都市ボランティア)はのべ約17,000名 ※速報値
- ・無観客開催に伴い、シティキャストの意見も踏まえ、観客案内に代わる様々な活動を実施

- ・羽田空港における選手のお迎え・お見送り
- ・東京スポーツスクエアにおける来場者案内
- ・聖火台周辺における来場者への声掛け
- ・学校連携観戦で会場へ向かう児童・生徒の案内
- ・パラマラソンの沿道付近における観戦自粛の呼びかけ など

- ・アンケートに回答いただいたシティキャストのうち8割から活動に満足したとの回答あり

## ○ セキュリティ

- ・都内では、会場内は主に組織委員会が、ラストマイルを含む会場外は、警視庁など東京都が警備を担当
- ・大会期間中、会場内外において、組織委員会は延べ30万人の民間警備員等を中心に、また、都内は警視庁等の警察官約3.6万人体制で警備
- ・期間中、大会運営に影響を与える特段の事案なし

## ○ 暑さ対策

<マラソン・トライアスロンコース等>

- ・遮熱性舗装等の整備促進や、街路樹の計画的なせん定による緑陰拡大の取組を推進

<シティキャスト>

- ・連続する活動時間を最大60分とし、活動の合間に空調の効いた控室で休憩
- ・冷たい飲料水や保冷剤付ネッククーラー、塩分補給剤、アイスタオル等を提供
- ・人から離れた日陰でマスクを外し、こまめに水分補給を行うよう案内

<学校連携観戦>

- ・児童・生徒向けに、クールスポット(冷房付きテント等)を設置、暑さ対策グッズ(冷却用タオル等)や飲料を配布



羽田空港における選手のお見送りの様子



シティキャストの活動の記念にお渡しするピンバッジ



警備員の活動の様子



控室でアイスタオル等を受け取るシティキャスト

## ○ 持続可能性への配慮

- ・メダルに必要な金属を使用済み携帯電話等から100%回収
- ・福島県で製造された水素を、開閉会式の聖火台・聖火リレートーチの燃料や、選手村の休憩施設等の電力供給に活用
- ・事業者提供のクレジット72万トンで相殺することで、開閉会式4日間の都内CO<sub>2</sub>排出量ゼロを実現
- ・大会関係車両に燃料電池自動車やプラグインハイブリッド車等の低公害・低燃費車の導入を促進



都庁舎での携帯電話等受付  
10万個突破記念セレモニー

## ○ 多言語による情報発信

- ・大会期間中「おもてなしガイドアプリ」を活用して、会場にいる日本語が分からない方や音が聞こえにくい方に向けてアナウンス等を多言語で文字配信（日・英・中（繁・簡）・韓・西・仏の7言語）



聖火台

## ○ 聖火リレー

- ・区部・多摩地域では公道走行中止。島しょは大島町を除き公道走行を実施
- ・全ての聖火リレーセレモニーをネット配信し、リモート観戦を推奨
- ・大会史上初めて聖火リレートーチに水素を活用（オリンピック）
- ・7月9日から23日の開会式までの15日間で実施
- ・公道実施の自治体：島しょ地域の8町村
- ・点火セレモニーを実施した自治体：23区、26市・5町村
- ・ランナー数：1,265人（点火セレモニー1,227人、公道38人）（パラリンピック）
- ・8月20日から24日の開会式までの5日間で実施
- ・公道実施の自治体：なし
- ・点火セレモニーを実施した自治体：14区、9市
- ・ランナー数：585人



聖火 到着式  
(7/23 都民広場)



パラ聖火 到着式  
(8/24 織田フィールド)

## ○ 気運醸成

### (1) デジタルを活用した情報発信

- ・集客型のライブサイト・イベントから転換し、以下を実施
- ・自宅観戦に役立つ大会情報や、競技・選手などを紹介する特設WEBサイトの開設

- ・オンラインライブ配信（大会の見どころ、競技紹介、アスリート応援動画）10本
- ・「インターナショナルデー パフォーマンス」など文化国際交流の発信
- ・都内・被災地の団体のパフォーマンス動画の配信（伝統芸能、歌、舞踊など67団体分を掲載）



Webを活用した盛り上げ

## (2) パラリンピック広報PR

- ・パラリンピック応援のテレビCM放映（8/20～9/5）
- ・注目選手・競技紹介の新聞折込チラシ（250万部配布）
- ・自宅観戦用パラマラソンマップ・チラシ
- ・パラリンピックギャラリー銀座での競技体験等
- ・EU文化部門と連携したパラスポーツ写真展等



パラリンピック応援サイト

## (3) シティドレッシング・大規模展示物

都内の道路、空港、主要駅等を大会ルックによるフラッグやバナー等で装飾し、大会の雰囲気高めるとともに、都内各所でのシンボル・大会マスコット像等の展示を通じて、気運を盛り上げ



オリンピックシンボル  
（お台場）

## ○ 事前キャンプ

- ・都内では、13区、6市、1民間が、事前キャンプを受入
- ・自治体は、選手等の受入にあたり、マニュアルを作成し、選手やスタッフ等に対してスクリーニング検査を実施
- ・一部の自治体では、選手とのオンライン交流（大会期間中）や対面での交流（大会出場後）を実施



ウズベキスタンのキャンプ  
（杉並区・ボクシング）

## ○ 復興オリンピック・パラリンピック

- ・オリンピックでは、宮城県でサッカー競技を、福島県で野球・ソフトボール競技を開催
- ・有明アリーナには、復興のシンボルとなる樹木（岩手・宮城・福島・熊本各県の県木）を植樹
- ・オリンピックスタジアム横の聖徳記念絵画館前には、復興仮設住宅の廃材アルミを原材料とし、被災地の中高生からのメッセージを載せた「東京2020 復興のモニュメント」を設置
- ・その他、聖火リレーやメインプレスセンター等、様々な場面で「復興オリンピック・パラリンピック」を発信



東京2020 復興のモニュメント  
（左奥から宮城県・福島県・岩手県）

## ○ 選手村

- ・選手の生活に必要な施設（敷地面積 約44ha）  
宿泊棟21棟（オリンピック時18,000ベッド、パラリンピック時8,000ベッド）  
メインダイニングホール（営業時間：24時間、最大提供食数：45,000食/日）  
カジュアルダイニング（東京産や被災地（岩手、宮城、福島）の食材については毎日活用）  
ビレッジプラザ（63自治体から無償で借り受けた木材を使用）  
発熱外来（感染症疑いの患者に対する診療、PCR検査等の実施）  
フィットネスセンター（有酸素マシンやウエイトマシンなど約600アイテムを設置）等
- （オリンピック） 7月13日から8月11日 計30日間運営  
（パラリンピック） 8月17日から9月8日 計23日間運営



宿泊棟



メインダイニングホール

## ○ アクセシビリティの確保

- ・都立競技会場は「Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン」を踏まえるとともに、障害者や専門家の意見等を聴取し、会場整備に反映  
例）トイレを、利用形態に応じて、会場内に分散配置  
車いす使用者席を水平方向や垂直方向に分散配置
- ・組織委員会は、大会に向けて各会場に応じて仮設で入口や各種施設へのスロープ、車いす使用者用の観客席、多機能トイレなどを設置



<乳幼児対応トイレ>



東京国際フォーラム  
会場入口(アクセシブル)

## ○ 東京スポーツスクエア・メインプレスセンター

- ・国内外のメディア等に対し、大会の情報や開催都市東京の魅力を発信
- ・入国14日以内の公認メディアを対象に取材機会を提供し東京の魅力を発信。バリアフリー対応を行い、車椅子の方にも参加いただいた。



シティインフォメーション

## Ⅲ 大会のレガシー

### ○ 大会後のレガシーを見据えた東京都の取組

- ・大会に向けて、バリアフリー化など誰もがやさしさを感じられるまちづくりや、メダルプロジェクトなど持続可能性に配慮した取組、スムーズビズ、多言語対応など、ハード・ソフト両面に渡る多面的な施策を推進。また、大会に向けた新型コロナ対策は、都民の安全・安心な暮らしの実現に寄与
- ・こうした大会のレガシーを、都市のレガシーとして発展させ、都民の豊かな生活につなげていく。

## パラリンピック競技大会における学校連携観戦の報告について

## 1 実施状況

実施日 令和3年8月25日から9月5日まで12日間

実施会場 9会場

参加校数及び幼児・児童・生徒数

	学校数	幼児・児童・生徒数
区市町村立学校	114校	9,337人
都立学校	6校	231人
私立学校	20校	975人
計	140校	10,543人

※区市町村立学校は、4自治体

## 2 安全・安心な競技観戦のための取組

- 事前及び観戦後の健康観察の徹底
  - 事前のPCR検査機会の提供と実績
    - < 検査人数及び陽性者数（引率教職員を含む） >

区市町村立学校	検査人数	5,169人	陽性者数	4人
都立学校	検査人数	278人	陽性者数	0人
私立学校	検査人数	455人	陽性者数	1人
	計	5,902人		5人

※陽性者は、競技観戦には参加していない。
- 貸切バス利用を基本とした往復の移動
- 会場入場時の検温、手指消毒、体調観察、観戦時のマスク着用、最小限の会話の徹底
- 学校連携観戦専用エリアを設定し、他の関係者との混交を避けるとともに、幼児・児童・生徒間に十分な距離を確保（2～3席空けての着席）
- 熱中症や体調不良に備えた待機場所やクールスポット等の確保
- 暑さ対策グッズ（応援ボード兼遮光ボード、冷却用タオル、熱中症応急キット）やアルコール消毒液の配布

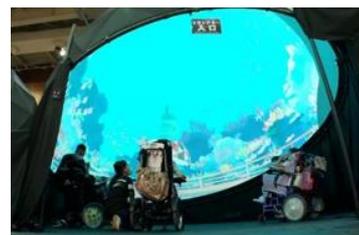
### 3 参加した児童・生徒の声

- テレビで見たときより、様々な音が聞こえたり、スピードの速さを実感できたり、カメラに映っていない選手のプレーが見られたりと、生で観戦することのすごさ、楽しさを知ることができました。
- コーチやボランティアの方々などが、選手を支えている姿を見て、支え合うことの大切さを感じました。
- 会場のボランティア、関係者の方、実況の方、皆さんが私たちを歓迎してくださってとても嬉しかったです。

### <参考> 大会期間中の取組

#### 【バリアフリーVR 観戦】

- 最新テクノロジーを使用し、競技会場にいるような疑似体験を、特別支援学校で実施
- 対象は、肢体不自由・病弱特別支援学校のうち、競技会場でリアルに観戦できない児童・生徒



<VRシアターでの360°映像視聴>

実績：7/27～8/4（5日間） 特別支援学校13校 児童・生徒296人

#### 【東京2020大会テレビ観戦・オンライン交流事業】

- テレビで競技を観戦しながら、他の学校とオンラインで交流
- 大勢で観戦する一体感の中で、大会や選手を応援



<ビデオ会議でのオンライン交流>

実績：8/27～9/3（6日間） 都内公立学校約30校

#### 【みんなの声をアスリートに届けよう！】

- 子供たちからアスリートへの「応援メッセージ動画」を作成し、選手休憩用ホテル等にて上映
- 動画を視聴したアスリートから子供たちへ「御礼メッセージ動画」や「サイン入りメッセージ」を贈り、間接的に交流



<アスリートへの応援動画>

実績：都内公立学校約280校

# 東京2020大会の報告について

## 開催都市本部

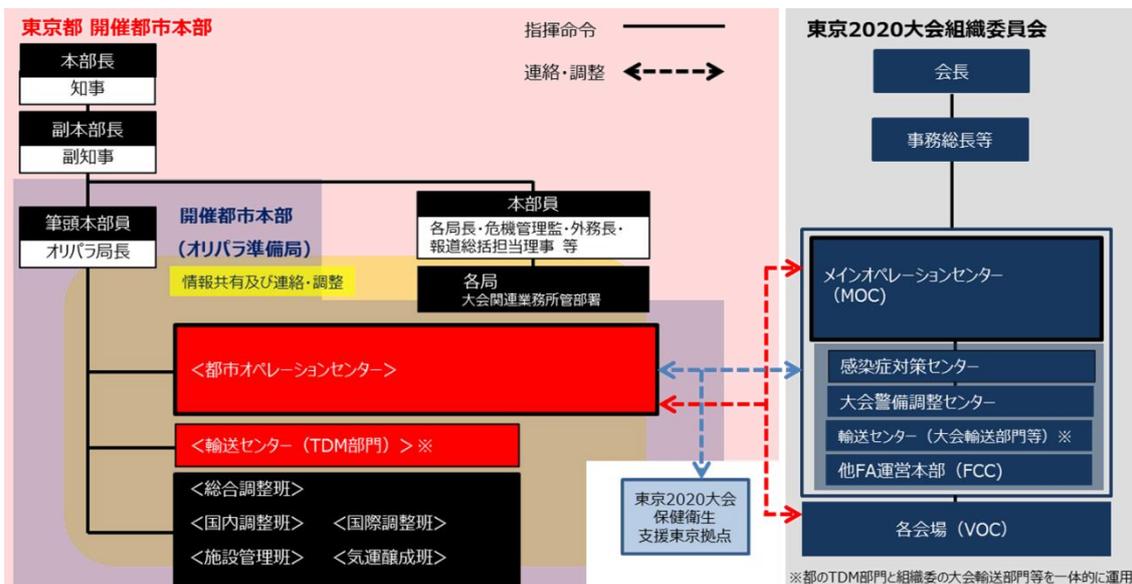
### 【オリンピックに向けた取組】

#### ○ 経過・トピック

- ・大会開催に向けて、知事を本部長とした全庁的な体制「開催都市本部」を設置（7月1日）
- ・開催都市本部会議を開催し、大会時の体制やオペレーションなどを確認。本部長から、安全安心の確保や全庁における応援体制について指示。（7月16日）
- ・実際の運営に伴い発生した課題に対し、各局に応援を依頼（7月21日）し、機動的に対応。
- ・大会運営に関する緊急の応援が必要になった場合に備え、緊急応援要員名簿の作成を依頼。（7月26日）
- ・大会期間中は、幹事会を5回（第1回：7月26日、第2回：7月29日、第3回：8月2日、第4回：8月5日、第5回：8月10日）開催し、大会関係者のコロナ関連情報や台風対応、輸送の状況などの大会運営に関する状況や各局の大会関連事業の情報などを随時共有。

#### ● 「開催都市本部」

- ・知事を本部長とした全庁的な体制を設置し、都市オペレーションセンターと関連局等とのより円滑・迅速な調整を実現。
- ・大会を契機に推進する事業など、都市オペレーションセンターが連絡調整する範囲以外の業務についても、情報を一元的に集約。



## 【パラリンピックに向けた取組】

### ○ 移行期間中における対応の事例

〈開催都市本部会議〉

- ・ 移行期間中に第2回開催都市本部会議を開催（8月20日）。オリンピックにおける取組状況、パラリンピック学校連携観戦などについて報告。
- ・ 本部長から、オリンピックの経験を活かし、パラアスリートの特性を踏まえた対応など運営面で全庁協力して取り組むこと、学校連携観戦については、子供たちが安全・安心に観戦できるよう全庁一丸となって取り組むことの2点について指示あり。

〈庁内各局からの応援職員〉

- ・ パラリンピック無観客、学校連携観戦実施の決定を受け、応援職員の配置を見直し。ラストマイルでの対応要員への配置は行わないこととし、医療対応要員を増員

### ○ パラリンピック期間中の取組

〈開催都市本部会議〉

- ・ 幹事会を大会期間中に2回（8月26日、9月2日）開催し、大会運営や学校連携観戦に関する情報を共有。パラマラソン沿道観戦自粛に向けた取り組みなど、大会運営に関する協力を関係局へ要請。

### ○ 総括

- ・ 幹事会の開催頻度を上げて、大会運営に関する情報をタイムリーに共有することにより、各局の理解と協力を得やすい体制を構築。
- ・ 大会運営情報に併せて、各局が連携して効果的に実施できるよう、各局が大会を契機に推進する事業の情報も共有。

〈主な各局の事業〉

- ・ 東京都メディアセンター オンラインブリーフィング（政策企画局）
- ・ 文化プログラム「Tokyo Tokyo FESTIVAL」  
ウェブサイト「TOKYO CULTURE LIVE STUDIO」（生活文化局）
- ・ 都内の産業等の魅力発信、日本各地のPR  
「Tokyo Tokyo ALL JAPAN COLLECTION」（産業労働局）
- ・ 選手村地区プレゼンテーション事業（都市整備局）
- ・ バリアフリーVR観戦「未来のスター指定席」  
みんなの声をアスリートに届けよう（教育庁）
- ・ パラリンピック競技大会における学校連携観戦（生活文化局、教育庁）

# 聖火リレー

## 【東京2020オリンピック聖火リレー】

### ・活動内容等

東京2020オリンピック聖火リレー 実施状況

リレー実施日	区市町村	セレモニー会場	走行ランナー数	関係者観客数
Day1 7月9日(金)	世田谷区	駒沢オリンピック記念公園陸上競技場 聖火お披露目式	-	-
	世田谷区、狛江市、稲城市、町田市	町田市 町田シバヒロ(点火セレモニー)	104	388
Day2 10日(土)	多摩市、日野市、昭島市、八王子市	八王子市 富士森公園(点火セレモニー)	94	403
Day3 11日(日)	檜原村、奥多摩町、日の出町、 青梅市、瑞穂町	瑞穂町 瑞穂ビューパーク競技場(点火セレモニー)	77	341
Day4 12日(月)	羽村市、あきる野市、福生市、 武蔵村山市、立川市	立川市 TACHIKAWA STAGE GARDEN (点火セレモニー)	80	321
Day5 13日(火)	国立市、国分寺市、小平市、 東大和市、東村山市	東村山市 国立療養所多摩全生園 (点火セレモニー)	82	334
Day6 14日(水)	清瀬市、東久留米市、西東京市、 小金井市、府中市	府中市 東京競馬場(点火セレモニー)	98	353
Day7 15日(木)	三宅村、神津島村、新島村(新島)、 新島村(式根島)、利島村	公道走行	19	1,373
	大島町	大島町仲の原園地(点火セレモニー)	8	31
Day8 16日(金)	御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、 小笠原村(父島)、小笠原村(母島)	公道走行	19	1281
	調布市、三鷹市、武蔵野市	武蔵野市 武蔵野陸上競技場(点火セレモニー)	61	309
Day09 17日(土)	杉並区、中野区、練馬区	練馬区 練馬総合運動場公園(点火セレモニー)	76	308
Day10 18日(日)	豊島区、板橋区、北区、足立区	足立区 中央卸売市場足立市場 (点火セレモニー)	98	430
Day11 19日(月)	葛飾区、江戸川区、墨田区、荒川区	荒川区 南千住野球場(点火セレモニー)	87	336
Day12 20日(火)	台東区、文京区、千代田区、中央区	中央区 中央区浜町公園(点火セレモニー)	130	533
Day13 21日(水)	江東区、大田区、品川区	品川区 しながわ中央公園(西口広場) (点火セレモニー)	91	482
Day14 22日(木)	目黒区、渋谷区、港区	港区 区立芝公園(点火セレモニー)	101	416
Day15 23日(金)	新宿区	東京都庁 都民広場(点火セレモニー、到着式)	40	167
			1,265	7,806

## ● 点火セレモニー

点火セレモニーは各日のセレブレーション会場で実施。各区市町村の長や、聖火ランナーの家族に見守られて、聖火をつないだ。

## ● 島しょ部の聖火リレー

島しょ部9町村11島のうち、点火セレモニーの希望があった大島町を除き8町村10島11kmを走行。全ての島しょに聖火はつながれた。渡航するすべてのスタッフ(組織委員会、実行委員会、警視庁等)は事前検査を実施。マスクの皆様にも検査を要請。聖火リレー実施後、島しょ部でのコロナ感染はゼロ。

## ● リモート観戦の推奨

すべての聖火セレモニーをネットで配信(各日終了時点で1,100~15,000人が閲覧)。当日予定していた地元のイベントも映像提供いただき、ネット上で配信。全日、アーカイブとして視聴可能。

## ● 水素トーチの活用

大会史上初めて聖火リレートーチに水素を活用。燃料には世界最大級の再生可能エネルギー由来水素製造施設が設置されている福島県浪江町で製造され水素を活用。都内では5人のランナーが水素トーチを持った。

### 【水素トーチを持った聖火ランナー】

- Day1 東京都第一ランナー 松岡修造氏
- Day2 八王子市第二ランナー 古原靖久氏
- Day3 日の出町最終ランナー 高梨沙羅氏
- Day6 府中市最終ランナー 土屋太鳳氏
- Day15 東京都最終ランナー 中村勘九郎氏

## ● 活動の様子

<聖火お披露目式の様子>



<多摩市の様子>



<走行の様子：畠山愛理氏(式根島)>



<小笠原村走行の様子(父島)>



<中野区の様子 右:中川翔子氏>



<中村勘九郎さん走行の様子>



# 【東京2020パラリンピック聖火リレー】

## ・ 活動内容等

### 東京2020パラリンピック聖火リレー 実施状況

リレー実施日	実施内容	区市町村	セレモニー会場	走行ランナー数	関係者観覧数
Day1 8月20日 (金)	採火	全62区市町村	-	-	-
	都内集火式	新宿区	東京都庁 都民広場	-	-
	点火セレモニー	新宿区、中野区、豊島区、北区、文京区	北区 東京都障害者総合スポーツセンター	111	331
	全国集火式	港区	迎賓館赤坂離宮	-	-
Day2 21日 (土)	東京都聖火ピシット	足立区	都立花畑学園	-	217
	点火セレモニー	千代田区、台東区、墨田区、江東区、江戸川区	江戸川区 都立葛西臨海公園第三駐車場	110	341
Day3 22日 (日)	点火セレモニー	国立市、日野市、立川市、東大和市、国分寺市	国分寺市 市庁舎建設予定地 (いずみプラザ東側用地)	113	290
Day4 23日 (月)	東京都聖火ピシット	練馬区	中村橋区民センター内 区立心身障害者福祉センター	-	154
		武蔵野市	武蔵野陸上競技場	-	65
	点火セレモニー	西東京市、三鷹市、府中市、調布市、世田谷区	世田谷区 都立砧公園ねむのき広場	126	315
Day5 24日 (火)	点火セレモニー	中央区、港区、渋谷区	渋谷区 都立代々木公園中央広場	125	314
	都内到着式	渋谷区	都立代々木公園織田フィールド		
合計				585	2,027

## ○ パラリンピック聖火

都内は全62区市町村において様々な方法で採火され、それらの火を都民広場にて、区長会会長、市長会会長、町村会会長の3名で集火し、「東京2020パラリンピック聖火（東京都の火）」となった。

また、迎賓館にて47都道府県の火とパラリンピック発祥の地の英国ストークマンデビルで採火された火が集火され、「東京2020パラリンピック聖火」となった。



## ○ 点火セレモニー

新型コロナの感染状況を踏まえ、公道でのリレーを取り止め、各日のセレブレーション会場等において無観客でトーチキスによる点火セレモニーを実施。各区市の長やランナーの家族等の関係者に見守られて、聖火をつないだ。



## ○ 東京都聖火ビジット

パラリンピックに親和性のある施設等において、ランタンに入れたパラリンピック聖火を施設利用者等の関係者に向けて展示した。



## ○ 都内到着式

1964年の東京パラリンピック大会でメイン会場となった都立代々木公園の織田フィールドで開催した。

今回の大会では選手の練習会場として活用された。



## ○ リモート観戦の推奨

各日実施した聖火セレモニーをインターネットで配信(各日終了時点で最大13,000人が閲覧)。聖火リレー実施時に各区市で予定していた地元のイベントも映像提供いただき、ネット上で配信。全区間、アーカイブとして視聴可能

アドレス：<https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/special/enjoy/torch/>

## 都市オペレーションセンター（COC）

### 【オリンピックに向けた取組】

#### ○ 経過・トピック

##### （情報集約・報告業務）

#### ○都市運営情報の集約・共有

都市運営情報（新型コロナウイルス関連情報、ライフライン、公衆衛生、環境衛生、治安情報等）やシティキャスト活動情報を各所管及び関係機関から集約し、組織委員会に共有した。

#### ○大会運営情報等の収集・共有

COCについては本部・支部ともに24時間体制とし、組織委員会から定期的に大会運営情報等を収集するとともに、随時・突発案件については、COC支部や保健衛生拠点、警視庁・消防庁のリエゾン等を通じて、競技時間の変更や人流等の情報収集等を行った。また、都の競技会場の施設管理や輸送の状況に関する情報については、局内各所管から併せて集約し、庁内への報告・関係者との共有を行った。

さらに、大会関係者の感染状況や入院・療養者数の情報集約を行い、庁内関係局と毎日共有するほか、モニタリング会議で報告を行った。

#### ○台風に関する対応

台風8号、9号、10号の接近に際しては、総合防災部のCOC内連絡員を通じて最新の台風情報を随時収集するとともに、組織委員会からは競技への影響等の情報収集を行い、台風が都市運営に与える影響の分析や、大会にかかる都立競技会場の安全対策、シティキャストの活動維持・中止の判断など、都としての対応を行った。また、都が設置した救護所、仮設トイレ等の仮設設備については、風速等を踏まえた撤去判断の検討を事前に行い、迅速に対応できるよう関係機関等と調整を行った。

#### ○熱中症等に関する対応

COC内に配置された組織委員会連絡員と連携し、会場内等で発生した熱中症や感染症等の事案の情報収集を行った。さらに、こうした事案情報をCOC本部医療救護担当等が分析し、熱中症の発生原因や対策等について、COC本部・支部内に共有するとともに、シティキャストの活動の際に、こまめな水分補給や体調が悪い場合は活動を控える等の呼びかけを徹底した。また、開催都市として、大会運営に携わるスタッフ等の熱中症を防止するため、支部を通じて組織委員会への情報の共有を行った。

・都内の熱中症件数及び気象情報（暑さ指数等）を毎日報告

日付	熱中症件数		暑さ指数		日付	熱中症件数		暑さ指数	
		過去3年平均		過去3年平均			過去3年平均		過去3年平均
7月20日(火)	92	123	31.8	30.5	7月30日(金)	32	103	29.2	29.8
7月21日(水)	99	114	30.6	29.4	7月31日(土)	48	153	30.7	31.2
7月22日(木)	69	113	31.0	28.7	8月1日(日)	71	213	32.0	32.0
7月23日(金)	73	139	30.8	28.1	8月2日(月)	68	209	31.5	31.1
7月24日(土)	73	118	29.9	29.7	8月3日(火)	61	213	31.5	31.6
7月25日(日)	53	85	31.3	30.1	8月4日(水)	108	160	32.6	31.9
7月26日(月)	53	57	29.0	29.6	8月5日(木)	73	169	32.6	32.4
7月27日(火)	31	38	26.7	28.7	8月6日(金)	70	159	31.8	32.2
7月28日(水)	54	39	31.2	29.2	8月7日(土)	40	146	29.9	29.3
7月29日(木)	47	77	30.8	29.3	8月8日(日)	10	105	27.4	29.9

暑さ指数(WBGT) (青)ほぼ安全 (水)注意 (黄)警戒 (橙)嚴重警戒 (赤)危険

暑さにより、下記の競技時間、場所が変更

○ テニス

- ・ 7月29日(木) (センターコート及びコート1～3)  
11:00～20:00→15:00～24:00  
※当初予定よりコートを1面増やして対応
- ・ 7月30日(金) (センターコート及びコート1)  
12:00～20:00→15:00～23:00
- ・ 7月31日(土) (センターコート及びコート1)  
12:00～20:00→15:00～23:00
- ・ 8月1日(日) (センターコート)  
12:00～20:00→15:00～23:00

○ 女子サッカー (決勝戦)

- ・ 8月6日(金) 11:00開始【オリンピックスタジアム】  
→21:00開始【横浜国際競技場】

○ 女子ゴルフ

- ・ 8月6日(金) 7:30～16:00→7:30～14:00
- ・ 8月7日(土) 7:30～16:00→6:30～13:00

○ 陸上女子マラソン

- ・ 8月7日(土) 7:00開始→6:00開始

(会場周辺対応)

○周辺住民対応

COC本部において、競技会場所在区市等から連絡を受け、会場周辺に係る大会関係者の迷惑行為（私有地への無断駐輪・駐停車等）等を把握、調査のうえ、組織委員会に詳細を共有し、注意喚起を徹底することで再発防止に努めた。

## ○TWFC※エリアにおける対応

TWFCの拠点にCOC職員2ポストを常駐させ、組織委員会TWFCチームが運営するオリンピックプロムナード及び臨海部の状況確認と必要な対応を行った。

※トーキョーウォーターフロントシティ。聖火台を中心に7つの競技会場や大会関連施設等が集積するエリア。

《対応例》

スペクタキュラー鑑賞に伴う滞留の防止（台場駅周辺）

⇒組織委員会に依頼し、通路の入口にコーンバーを立て、「この先行き止まり」の旨の貼り紙を掲出

## ○トライアスロンにおける救護所の設置

路上競技であるトライアスロン競技時のお台場海浜公園周辺については、沿道に観客が集まることが想定されること、また、パラリンピックに向けた医療救護対応の検証のため、救護所を開所した。（7月26日、31日）

### （飲食・持続可能性）

- ・選手村ダイニングについて、混雑状況の情報提供により密を生じさせないなど円滑な運営を実現するとともに、提供される料理についても、日本食を中心に各国選手らから好評であり、SNS等による発信が相次いだことが報道された。
- ・一方で、国立競技場における弁当大量廃棄の報道があったことを受け、組織委員会がお詫びのステートメントを配信し、余剰は廃棄ではなく、飼料化リサイクル・バイオガス化をしていることを説明するとともに、発注量の適正化措置を実施した。報道後速やかに、組織委員会に対し、事実関係を確認の上、適切な対応を行うよう申し入れるとともに、都側への情報共有を依頼した。

### （COCの体制及び組織委員会等との連携）

## ○本部・支部間における連携体制

本部・支部ともに24時間体制とし、COC端末等ICTツールも活用し、COC本部及び都庁各局等の関係機関の対応状況やMOC内の対応状況等について、切れ目ない情報集約及び連携を行った。また、1日3回のライン合同ミーティングや、本部・支部間でのテレビ電話の常時接続等を通じてCOC内の情報共有を図り、対応を検討した。

## ○MOCとの連携体制

MOC内に都職員を24時間体制で配置し、MOC内で開催される会議等の情報収集を実施した。各会場の個別状況を随時情報収集し、COC本部・支部との共有を図った。

(例：台風等による各会場の対応・被害状況確認、お台場海浜公園の水質状況に伴う競技実施判断など)

### ○保健衛生拠点との連携

保健衛生拠点内にCOC職員を配置し、新規陽性者情報や宿泊療養施設の療養者数の収集・把握を行うことで、地域医療・療養体制への影響についてモニタリングし、関係局との情報連携を行った。

### ○輸送センター等関係機関との情報収集、連携

都内主要道路の事故情報や渋滞情報などを迅速に入手することにより、競技実施への影響の有無を速やかな把握を行った。

また、水道管破裂による道路通行止め等、輸送に影響を与える情報について、COC支部を通じて情報共有を行った。

なお、サイバーセキュリティ対策について、国、組織委員会等の関係機関と連携し情報共有等に取り組んだ。

### ○ 総括

#### (全体総括)

無観客開催に伴いラストマイル運営はなくなったが、都市運営情報を関係機関等から集約して組織委員会に提供するとともに、台風に関する各種情報を共有する等、連携して対応を行い、また、地域医療・療養体制への影響についてモニタリングし、関係局との情報連携を行ったほか、競技会場近隣の住民対応等の会場周辺対応を行うなど、開催都市として大会運営支援を行った。

- ・大会期間中の熱中症の発生状況について、組織委員会や消防庁と相互に情報共有を行うことで開催都市として把握を行うとともに、医療救護担当等が熱中症の発生原因や対策等を分析し、トリアスロンにおける救護所設置やシティキャスト等の対策に活用した。

## 【パラリンピックに向けた取組】

### ○ 移行期間中における対応の事例

#### (情報集約)

##### ・都市運営情報の集約・共有

移行期間中においても、都市運営情報（新型コロナウイルス関連情報、ライフライン、公衆衛生、環境衛生、治安情報等）やシティキャスト活動情報を各所管及び関係機関から集約し、組織委員会が設置するメインオペレーションセンター（MOC）に共有を行った。

##### ・大会に関する情報の収集

オリンピック期間から継続して、支部にCOC職員を配置し、オリンピックの出国情報やパラリンピックの入国情報、パラリンピックに向けた準備状況等の情報収集を行った。

また、保健衛生拠点内においても、引き続きCOC職員を配置し、大会関係者の感染状況や入院・療養者数等コロナ関連情報の集約を行うとともに、地域医療・療養体制への影響についてモニタリングし、庁内関係局との情報連携を行った。

### ○ パラリンピック期間中の取組

#### (学校連携観戦)

##### ・本部における対応

COC本部から教育庁・生活文化局へ、競技時間変更や気象情報等を随時情報提供し、観戦事業の運営を支援した。

また、現地のCOC職員等が傷病者発生時に適切に対応できるよう、医療救護担当等による近隣医療救護機関情報の共有、複数傷病者発生時の本部での支援体制の準備を行った。

##### ・競技会場等周辺対応

以下の9会場周辺においてCOC職員・シティキャストを配置し、バス乗降場等から会場までの巡回・案内等や、会場周辺における事案対応等を行った。

- オリンピックスタジアム 8月27日～29日、9月1日～9月5日
- 東京体育館 8月28日、9月3日
- 国立代々木競技場 8月25日～29日、9月1日～9月5日
- 日本武道館 8月27日
- 武蔵野の森総合スポーツプラザ 8月25日～29日
- 有明アリーナ 8月26日、9月4日
- 有明体操競技場 8月31日
- 有明テニスの森 8月29日、30日
- 夢の島公園アーチェリー場 8月28日

また、有明アリーナ、有明体操競技場、武蔵野の森総合スポーツプラザ会場周辺に仮設トイレを設置した。

暑さ対策としては、児童・生徒向けに、教育庁・生活文化局と組織委員会が連携し、クールスポット（冷房付きテント等）を設置するとともに、暑さ対策グッズ（冷却用タオル等）や飲料を配布した。

## （パラリンピックマラソン）

### ・観戦自粛の事前周知

組織委員会や鉄道事業者、関係各局等と連携し、以下の多様な媒体を用いて観戦自粛の事前周知を展開した。

- 東京都HP、東京都ツイッター、各局SNS等で発信
- テレビCM、新聞広告、都内デジタルサイネージ、各種SNSでの発信
- 沿道周辺自治体へチラシ配布等を通じて、事前周知
- 車内放送・構内放送、駅構内等デジタルサイネージによる周知

### ・沿道対策

観客が密集しやすい重点エリアにおいて、COC職員及びシティキャストを配置し、組織委員会がコース沿道に配置したコロナ対策巡回スタッフや誘導スタッフ、警備員等と連携し、手持ちパネル等を活用しながら、観戦自粛と感染症対策（大声を出さない、密にならない）の呼び掛けを行った。

また、救護所を設置し、傷病者に対し早期に適切な対応を実施した。救護所の運営にあたっては、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、搬送車両を用意するなど、地域の医療体制に支障のない形で、必要な体制を構築した。

## （その他）

### ・熱中症等に関する対応

都内の熱中症件数及び気象情報（暑さ指数等）を毎日報告

日付	熱中症件数		暑さ指数		日付	熱中症件数		暑さ指数	
		過去3年平均		過去3年平均			過去3年平均		過去3年平均
8月24日(火)	20	43	29.5	29.7	8月31日(火)	14	61	29.6	31.1
8月25日(水)	32	78	32.7	30.3	9月1日(水)	0	24	22.7	27.7
8月26日(木)	65	99	33.6	30.9	9月2日(木)	5	26	20.1	28.1
8月27日(金)	55	71	32.5	31.1	9月3日(金)	1	19	21.2	28.6
8月28日(土)	45	56	33.3	29.4	9月4日(土)	3	41	22.6	28.5
8月29日(日)	22	57	29.3	31.0	9月5日(日)	5	29	24.7	29.5
8月30日(月)	59	50	32.0	29.4					

暑さ指数(WBGT) 21 (青)ほぼ安全 25 (水)注意 28 (黄)警戒 31 (橙)厳重警戒 (赤)危険

暑さや雨による競技時間・場所の変更は下記のとおり。

■車いすテニス

➤ 8月27日（金）、28日（土）

11:00～20:00→暑さのため17:15開始（屋外コート）

※センターコートは予定通り実施

➤ 8月29日（日）

11:00～20:00→暑さのため15:30開始（屋外コート）

※センターコートは予定通り実施

➤ 8月30日（月）

11:00～20:00→暑さのため17:30開始（屋外コート）

※センターコートは予定通り実施

➤ 9月1日（水）

11:00～20:00→雨のため1試合を翌日に延期（屋外コート）、  
試合の一部をセンターコートで実施（センターコート）

➤ 9月2日（木）

12:00～20:00→10:00～23:00（センターコート）

※雨天のため全てセンターコートで実施

➤ 9月3日（金）

12:00～18:00→10:00～20:00（センターコート）

➤ 9月4日（土）

12:00～18:00→10:00～20:00（センターコート）

■アーチェリー

➤ 8月31日（火）

17:30→21:20→雷の予報のため翌日（9/1）に延期（9:00-12:50）

# 新型コロナウイルス感染症対応

## 【オリンピックに向けた取組】

### ○ 経過・トピック

#### (大会期間中における日常的なモニタリングの実施)

- ・ COC 本部と組織委員会感染症対策センター (IDCC)、保健衛生拠点、福祉保健局間の緊密な連携を図るため、リエゾンとして職員を7名配置し、定時・随時の情報共有を行った。
- ・ 空港検査や組織委員会が実施するスクリーニング検査の状況やアスリート等の陽性者の発生状況、入院、宿泊療養件数等の感染状況及び地域の医療、療養体制への影響等についてのモニタリングを行い、関係局等などに情報共有を行うとともに課題への対応を行った。

#### (1) 空港検査

- ・ 国は、出国前2回の検査などアスリート等・大会関係者の入国に際し、水際対策の強化を行った。

空港検疫における検査の件数及び陽性者数 (7月1日～8月8日の合計)

	検査数	陽性者数	検査数に占める陽性者数の割合
アスリート等・大会関係者 計	42,861 件	37 人	0.09%

【参考】令和3年8月10時点の空港海港検疫における陽性率：0.4%

- ・ また、空港検疫で陽性者が発生した場合には、速やかに航空機内での濃厚接触の疑いのある者を特定し、速やかに移動車両を分けるとともに、個室での滞在・宿泊とするなど徹底した感染拡大防止策を行った。

#### (2) スクリーニング検査の徹底

- ・ 組織委員会は、定期的に新型コロナ陰性を確認して安全、安心な大会を担保するため、アスリート等・大会関係者に対し、入国後3日間に加え、アスリートは原則毎日、大会関係者は、アスリートとの接触レベルや役割等に応じて定期的にスクリーニング検査を実施した。

## スクリーニング検査の検査数及び陽性者数（7月1日～8月8日の合計）

	検査数	陽性者数	検査数に占める陽性者の割合
アスリート等・大会関係者 計	676,789 件	163 人	0.02%

- 陽性者の内訳は、アスリート等が 35 人、大会関係者が 128 人であり、アスリート等の検査数に占める陽性の割合は 0.01%、大会関係者が 0.03%となっている。

**(3) 大会関係者の行動管理**

- 大会関係者等には、プレイブックに記載されているルールについて入国前から周知・徹底を行った。
- 組織委員会は、各国選手団等の関係者に対して、プレイブックの遵守について、大会中も、改めて要請した。
- 違反行為については、組織委員会において、厳正な対処を行った。ア kredィテーションカードのはく奪が 8 名、一時的な効力停止が 8 名、厳重注意を 16 名に行うなど、罰則を適用した（8月7日時点）。

**(4) 訪日大会関係者における陽性者の療養状況等**

- 都内における訪日選手、大会関係者等の陽性者に占める入院者数は累計で 3 人、宿泊療養施設についても、原則組織委員会が確保した施設を活用するなど、都の医療・療養体制への負担を抑制した。

＜8月10日（火） 9時時点＞

	都内医療機関		都内宿泊療養施設	
	入院中	退院済	入所中	退所済
アスリート等・大会関係者計	0 人	3 人	35 人	90 人

※都内医療機関は大会指定病院への入院

都内宿泊療養施設は、大会用宿泊施設を関係者の削減、集約により、組織委員会が 300 室を準備。余剰分は都民用としても活用。

- 陽性者は、基本的に各居室で待機することとなっており、確実な隔離を行う一方で、外国における隔離生活への不安を軽減するため、I O C が派遣した医師による母国語による傾聴、療養の必要性、退所の見通しなどのカウンセリング等を実施し、精神面でのサポートも行った。

## ○ 総括

- ・ 組織委員会感染症対策センター、保健衛生拠点、福祉保健局と緊密な連携を図るため、リエゾン職員を配置して、定時、随時の情報共有体制を構築し、選手等の陽性者の発生状況や入院・宿泊療養の状況などのモニタリングを行い、地域の医療、療養体制への影響を把握し、課題等への対応を行った。
- ・ プレイブックに記載されているルールについて、選手、大会関係者に周知徹底、違反事例に関しては、組織委員会において、厳重な処分・対処が行われた。

## 【パラリンピックに向けた取組】

### ○ 移行期間中における対応の事例

#### (継続的なモニタリングの実施)

- ・ オリンピックから継続して、組織委員会感染症対策センター (IDCC)、保健衛生拠点、福祉保健局間の緊密な連携を図るため、リエゾンとして職員を6人配置し、情報共有を行った。
- ・ オリンピック終了に伴う出国及びパラリンピックに向けて入国する選手、大会関係者について、空港検査や組織委員会が実施するスクリーニング検査の状況、アスリート等の陽性者の発生状況、入院、宿泊療養件数等の感染状況及び地域の医療、療養体制への影響等についてのモニタリングを継続して実施し、関係局等に情報共有を行うとともに課題への対応を行った。
- ・ 組織委員会がオリンピック大会期間中に発生した課題等を踏まえ、渡航前、入国時、大会時、出国時などの各場面における注意事項を見直すとともに、組織委員会からCLO (コロナ対策責任者) に対し、改めて注意喚起を行った。

### ○ パラリンピック期間中の取組

#### 1 空港検査

- ・ 国は、引き続き出国前2回の検査などアスリート等・大会関係者の入国に際し、徹底した水際対策を行った。

空港検疫における検査の件数及び陽性者数 (8月9日~9月5日の合計)

	検査数	陽性者数	検査数に占める陽性者数の割合
アスリート等・大会関係者 計	11,373 件	17 人	0.15%

・【参考】令和3年9月6日時点の空港海港検疫における陽性率：0.4%

- ・ また、空港検疫で陽性者が発生した場合には、速やかに航空機内での濃厚接触の疑いのある者を特定し、速やかに移動車両を分け、自室待機を行うなど徹底した感染拡大防止策を行った。

#### 2 スクリーニング検査の強化・徹底

- ・ 組織委員会は、日本国内の感染状況を踏まえ、国内外の関係者を対象に、パラリンピック期間中の更なる感染防止対策を実施するため、選手村で業務に従事する大会関係者については、これまでの4日1回から毎日、7日に1回の大会関係者は4日に1回にするなど実施頻度を上げて、スクリーニング検査を行った。

スクリーニング検査の検査数及び陽性者数（8月9日～9月5日の合計）

	検査数	陽性者数	検査数に占める陽性者の割合
アスリート等・大会関係者 計	331,690 件	147 人	0.04%

### 3 大会関係者の行動管理

- ・ 組織委員会は訪日大会関係者に、入国後 14 日間、プレイブック上のルールに従い、厳格な行動管理を改めて要請した。また、入国後 15 日目以降についても、用務先を指定された大会施設に限定するなど 14 日以内のルールに従った行動を維持するよう要請した。
- ・ パラリンピック大会期間中の違反行為については、組織委員会において、厳正な対処を行った。アクレディテーションカードのはく奪が 3 名、一時的な効力停止が 1 名、嚴重注意を 29 名に行うなど、罰則を適用した。

### 4 訪日大会関係者における陽性者の療養状況等

- ・ 都内における訪日選手、大会関係者の陽性者に占める入院者数は累計で 6 人、宿泊療養施設についても、原則組織委員会が確保した施設を活用するなど、都の医療・療養体制への負担を抑制した。

< 9月6日（月） 9時時点 >

	入院件数（累計）	都内宿泊療養施設
アスリート等・大会関係者計	6 人 (ピーク時 2 人)	224 人 (ピーク時 49 人)

※都内医療機関は大会指定病院への入院

都内宿泊療養施設は、大会用宿泊施設を関係者の削減、集約により、組織委員会が 300 室を準備。余剰分は都民用としても活用。

※都内宿泊療養施設から都内医療機関へ入院した者（1名）については、都内医療機関及び都内宿泊療養施設の各項目にそれぞれ計上

## ○ 総括

- ・ 選手等の陽性者の発生状況や入院・宿泊療養の状況などのモニタリングを行い、地域の医療、療養体制への影響を把握するため、組織委員会感染症対策センター、保健衛生拠点、福祉保健局にリエゾン職員を配置することにより、定時、随時の情報共有体制を構築することで、速やかな課題等への対応が可能となった。

- 空港検疫検査の状況から、検疫到着時点での陽性率が低い傾向にあることを見ると、事前の感染対策・事前検査の効果と考えられる。  
また、定期的なスクリーニング検査の実施により、迅速に陽性者を発見、隔離するなどの対応を行った。こうした取組により、感染の広がりを防ぐことができ、選手村での検査が機能したとの評価を専門家から受けている。

## シティキャスト

### 【オリンピックに向けた取組】

#### ○ 大会期間中の活動状況

- ・無観客開催により観客案内の活動が難しくなったことを受け、シティキャストのご意見を伺ったところ、大きく分けて「現場で活動したい」、「応援メッセージを届けたい」、「オンラインで活動したい」などの意見をいただいた。
- ・これまでシティキャストには、主にラストマイルや主要駅における観客案内の役割を担っていただく予定であったが、参加者の意見も踏まえ、「大会の応援」、「大会情報の提供」、「東京・地域の魅力発信」、「安全・安心な大会のサポート」等の役割について可能な方に協力をお願いすることとし、下記の活動を展開した。
- ・これらの活動は、7月15日以降、詳細が決まりしだい順次シティキャストへ案内し、参加者の募集を行った。
- ・オリンピック期間中に活動へ参加した方の人数はのべ6,000名<東京スポーツスクエア（TSS）800名、羽田空港1,100名、東京都メディアセンター（TMC）500名、聖火台周辺1,600名、その他2,000名>
- ・現場での活動に加え、オンラインを活用した活動（大会の応援メッセージの発信等）も展開。東京スポーツスクエアでは、タブレット端末や遠隔操作のロボットを活用したリモートによる来場者案内も実施した。

活動内容	活動場所	活動日
来場者案内、大会情報の提供	東京スポーツスクエア（屋内）	7/19～※
公開収録 （東京・地域の魅力発信／シティキャストインタビュー）	東京スポーツスクエア（屋内）	7/19～8/8
選手等のお迎え、案内	羽田空港（屋内）	7/18～23
選手等のお見送り、声掛け	羽田空港（屋内）	8/1～11
メディア関係者の案内	東京都メディアセンター（屋内）	7/23～8/8
	浜離宮恩賜庭園（屋外）	7/21,22
来場者への声掛け （感染症・暑さへの注意喚起）等	聖火台周辺等（屋外）	7/24～※
来場者案内、声掛け等	都庁（大会関連展示周辺）（屋内）	7/30～※
「みんなの東京2020応援チャンネル」 収録・配信会場サポート	日比谷野外音楽堂（屋外）	7/23～25,8/1,7,8
	都庁（屋内）	7/31
来場者案内、会場運営サポート等	パラリンピックギャラリー銀座（屋内）	7/30～※
大会への応援メッセージの発信	（オンライン）	7/23～※
東京・地域の魅力の発信	（オンライン）	7/23～※

※…オリンピック閉会後も活動中

## ○ 安全・安心な活動環境を提供するための取組

- ・感染症対策として、自宅等に唾液検査キットを送付し、活動前に検査を受けていただく取組を実施。また、希望者に都のワクチン接種センターにおいて接種を受けていただいた。
- ・活動にあたっては、感染予防マニュアルに基づき、活動前の検温と体調確認、マスクの配布、手指消毒の徹底（携帯用消毒液の配布）、活動時の距離の確保等の対策を徹底した。
- ・暑さ対策としては、冷たい飲料水や、保冷剤付きネッククーラー、塩分補給剤等の配布に加え、活動前のミーティングにおける注意喚起（人と離れた日陰でマスクを外し、こまめに水分補給を行うこと）を行った。
- ・屋外の活動場所では、連続する活動時間を最大30分（聖火台周辺）とし、希望者にかぶるタイプの傘を貸与するなどの取組を実施した。

## ○ 活動の様子

<東京都メディアセンター>



<パ・ラリンピッックギャラリー銀座>



<日比谷野外音楽堂>



<聖火台周辺>



<東京スポーツスクエア(公開収録)>



<羽田空港(お見送り)>



## ○ 総 括

- ・無観客開催の決定後、急ぎ活動を立ち上げ、参加者を募集したにも関わらず、活動当日の出席率は9割を超え、シティキャストには高い意欲をもって活動いただけた。
- ・選手のお見送りの活動を空港で見た海外の大会関係者が、SNSに評価のコメントを掲載するなど、大会期間中、ボランティアの心遣いやおもてなしの心に多くの選手・大会関係者が感謝のメッセージを発信し、また、そのことが様々なメディアで報じられた。
- ・活動参加者へのアンケートは回収・集計中であるが、現時点では回答者の8割から活動に満足したとの回答をいただいた。個々の意見としては「オリンピックに関わることができ満足した」、「短い時間だが貴重な体験ができた」、「機会があればまた活動したい」等の声をいただいた。
- ・今回実施した活動は、できる限り多くの方に参加いただけるよう、基本的にパラリンピックへの移行期間やパラリンピック期間中も実施するとともに、活動内容や日程、参加可能な人数を拡充し、参加機会の拡大を図っていく。
- ・パラリンピックに向けては、観客数についての検討状況を踏まえつつ、ラストマイル等における観客案内の活動について、できる限り多くの方に参加いただけるよう、シティキャストの希望を丁寧に伺いながら活動日時や場所を調整していく。

## 【パラリンピックに向けた取組】

### ○ 移行期間及びパラリンピック期間中の活動状況

- ・無観客開催となったオリンピックと同様、「大会の応援」、「大会情報の提供」、「東京・地域の魅力発信」、「安全・安心な大会のサポート」等の役割について可能な方に協力をお願いした。
- ・新たな活動として、パラリンピック聖火リレーの集火式や点火式での来場者案内、学校連携観戦のため会場へ向かう児童・生徒の案内、パラマラソン沿道付近における観戦自粛の呼びかけ等を実施した。
- ・移行期間及びパラリンピック期間中に活動へ参加した方の人数はのべ11,000名（東京スポーツスクエア（TSS）1,500名、羽田空港1,500名、東京都メディアセンター（TMC）500名、聖火台周辺2,200名、学校連携観戦400名、パラマラソン1,300名、その他3,600名）
- ・現場での活動に加え、オンラインを活用した活動（大会の応援メッセージの発信等）も展開。東京スポーツスクエアでは、タブレット端末を活用したリモートによる来場者案内も実施した。
- ・シティキャストのうち希望する方には、親子でボランティア活動を体験いただく取組を行い、231組の親子が参加した。（8/24～31, 9/4, 5 於：東京スポーツスクエア）※子どもは小学生を対象に実施

【参考】オリンピック期間中の活動への参加者：のべ6,000名

活動内容	活動場所	活動日
来場者案内、大会情報の提供(リモートによる案内も含む)	東京スポーツスクエア	7/19～9/5
公開収録(東京・地域の魅力発信等)	東京スポーツスクエア	7/19～8/8 8/24～9/5
選手等のお迎え、案内	羽田空港	7/18～23 8/16～23
選手等のお見送り、声掛け	羽田空港	8/1～11 9/4～6
メディア関係者の案内	東京都メディアセンター	7/23～8/8 8/24～9/5
	浜離宮恩賜庭園	7/21・22
来場者への声掛け(感染症・暑さへの注意喚起)等	聖火台周辺等	7/24～8/8 8/11～9/5
来場者案内、声掛け等	都庁(大会関連展示周辺)	7/30～9/4
「みんなの東京2020応援チャンネル」 収録・配信会場サポート	日比谷野外音楽堂	7/23～25,8/1,7,8
	都庁	7/31
来場者案内、会場運営サポート等	パリンピックギャラリー銀座	7/30～9/5
パラ競技・パラアスリートの応援メッセージの作成	国立オリンピック記念 青少年総合センター	8/19～29
パリンピック集火式・点火式における来場者の 案内、暑さ対策グッズの配布等	都庁周辺	8/20
	代々木公園	8/24
学校連携観戦のため会場へ向かう児童・生徒の案内	競技会場周辺	8/25～29 9/1～5
来場者の案内、暑さ対策グッズの配布等	パラ競技体験施設周辺	8/26～9/4
パラマラソン沿道付近における観戦自粛の呼びかけ	沿道周辺	9/5
大会への応援メッセージをウェブサイトから発信	(オンライン)	6月より受付
東京・地域の魅力をウェブサイトから発信	(オンライン)	6月より受付

## ○ 安全・安心な活動環境を提供するための取組

- ・オリンピック期間と同様、安全・安心に活動いただける環境を提供できるよう万全の取組を実施

- ・感染症対策として、自宅等に唾液検査キットを送付し、活動前に検査を受けていただく取組を実施。また、希望者に都のワクチン接種センターにおける接種の機会を提供
- ・活動にあたっては、感染予防マニュアルに基づき、活動前の検温と体調確認、マスクの配布、手指消毒の徹底(携帯用消毒液の配布)、活動時の距離の確保等の対策を徹底
- ・暑さ対策として、冷たい飲料水や、保冷剤付きネッククーラー、塩分補給剤等の配布に加え、活動前のミーティングにおける注意喚起(人と離れた日陰でマスクを外し、こまめに水分補給を行うこと)を実施
- ・屋外の活動場所では、連続する活動時間を最大60分(パラマラソン、学校連携観戦)とし、希望者にかぶるタイプの傘を貸与

## ○ 活動の様子

<パラ点火式>



<パラマラソン>



<学校連携観戦>



<羽田空港>



<パラリンピックギャラリー銀座>



<親子ボランティア体験>



## ○ 総括

- ・聖火台周辺で、猛暑や雨天のなか活動するシティキャストに接した海外の記者が、SNSに感謝と評価のコメントを掲載するなど、大会期間中、シティキャストの心遣いやおもてなしの心に多くの選手・大会関係者が感謝のメッセージを発信し、そのことが様々なメディアで報じられた。
- ・早朝4時半に開始したパラマラソンの観戦自粛を呼びかける活動における当日の参加率は9割を超え、また、全活動の参加率も同様に9割を超えるなど、シティキャストには高い意欲をもって活動いただけた。
- ・活動参加者へのアンケートは回収・集計中であるが、現時点では回答者の8割から活動に満足したとの回答をいただいた。個々の意見としては「来場者から感謝の言葉をかけられ、やりがいを感じた」、「活動の機会を作っていただいたことに感謝したい」、「当初の予定とは異なるが、楽しく活動できた。今後もボランティアに参加したい」等の声をいただいた。

## 施設管理

### 【オリンピックに向けた取組】

#### ○ 経過・トピック

#### 【都が管理する競技会場等】

競技会場	実施競技
夢の島公園アーチェリー場	アーチェリー
海の森水上競技場	カヌー（スプリント）、ボート
カヌー・スラロームセンター	カヌー（スラローム）
大井ホッケー競技場	ホッケー
有明アリーナ	バレーボール（バレーボール）
東京アクアティクスセンター	水泳（競泳、飛込、アーティスティックスイミング <sup>®</sup> ）
有明テニスの森	テニス
東京体育館	卓球
東京辰巳国際水泳場	水泳（水球）
東京スタジアム	サッカー、近代五種、ラグビー
武蔵野の森総合スポーツプラザ	バドミントン、近代五種

選手村（都が宿泊棟等を借用）

#### 【施設管理班の主な役割】

- ・ 競技会場のうち都が所有する11施設（以下、「会場」という）について、良好な競技環境を維持するため、不具合や損傷等に対し、組織委員会や施設管理者等と連携しながら、迅速に修繕等の対応を行う。
- ・ 選手村内の宿泊棟などについて、不具合や損傷があった場合、組織委員会及び特定建築者と修繕・復旧の調整等の対応を行う。
- ・ その他、当局が改修を行った東京スポーツスクエアに職員を配置し、施設面での不具合対応等に備える。



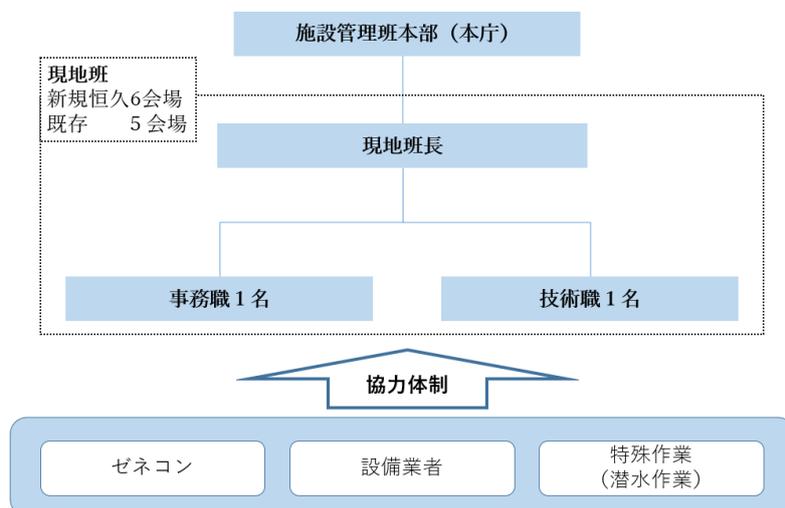
（有明アリーナ）



（東京アクアティクスセンター）

## 【班の構成】

- ・大会施設部 9 6 名とスポーツ推進部 2 6 名、計画推進部 1 名の当局職員に加え、財務局、都市整備局、港湾局から 4 0 名の技術系職員の応援を得て、計 163 名の職員で構成
- ・本庁で各施設の統括を担う「本部」、各会場に対応に当たる「現地班」、緊急時に本庁から各会場に応援に向かう「機動班」をそれぞれ配置。さらに、緊急時の対応のため、施設建設に携わった事業者の協力体制を構築した。



## 【班の活動】

- ・各会場で競技が実施される全日程について、競技開始の 2 時間前から現地班を配置し、施設の巡回点検や不具合発生時の対応を行った。全競技日程を通じ、延べ 532 人を配置した。
- ・選手村内に 2 交代で毎日 6 名の職員を配置し、組織委員会・特定建築者と協力して、施設の巡回点検や不具合対応を行うとともに、レガシー部分に係る損傷等の維持補修や原状回復について協議・調整を行った。

## 【トピック (台風への対応)】

- ・関東地方への接近が予想された台風 8 号及び 1 0 号について、施設管理班内に「特別対応本部」を設置して対応にあたった。
- ・組織委員会や指定管理者等と連携して、事前に雨水侵入対策や飛散防止対策などの被害防止策を講じた。
- ・さらに、必要に応じて関係事業者に緊急対応体制の確保を要請した。
- ・こうした取組もあり、大会運営に影響を与えるような被害はなかった。

### 《具体的事例》

- ・排水桝の点検・清掃
- ・土嚢、止水板の設置
- ・排水ポンプの設置
- ・屋外備品や仮設物等の飛散防止
- ・テント幕の撤去
- ・スタートポンツーンの養生 (海の森水上競技場)

## 《被害発生時の早期復旧に向けた対応》

- ・夜間や早朝からの職員待機
- ・潜水士の待機（海の森水上競技場）



(屋外エレベーター扉の防水措置)



(仮設物の飛散防止措置)



(止水板の設置)



(テント幕の撤去)

## ○ 総 括

各会場、選手村において、組織委員会や特定建築者等の関係者との協力、連携体制を構築し、施設を適切に維持することができた。

### 【競技会場】

オリンピック期間を通じ、各会場を良好な状態で維持することができ、大会運営に影響を与えるような施設面の不具合なく、大会を終了

### 【選手村】

オリンピック期間を通じ、宿泊棟などを良好な状態で維持することができ、選手の滞在に影響を与えるような施設面の不具合なく、大会を終了

## 【パラリンピックに向けた取組】

### ○ 都が管理する競技会場等

競技会場	実施競技
夢の島公園アーチェリー場	アーチェリー
海の森水上競技場	カヌー、ボート
有明アリーナ	車いすバスケットボール
東京アクアティクスセンター	水泳
有明テニスの森	車いすテニス
東京体育館	卓球
武蔵野の森総合スポーツプラザ	車いすバスケットボール

選手村（都が宿泊棟等を借用）	
----------------	--

### ○ 施設管理班の活動

#### 【施設管理班の役割】

- ・ 競技会場のうち都が所有する7施設について、良好な競技環境を維持するため、不具合や損傷等に対し、組織委員会や施設管理者等と連携しながら、迅速に修繕等の対応を行う。
- ・ 選手村内の宿泊棟などについて、不具合や損傷等があった場合、組織委員会及び特定建築者と修繕・復旧の調整等の対応を行う。
- ・ その他、当局が改修を行った東京スポーツスクエアに職員を配置し、施設面での不具合対応等に備える。

#### 【主な活動内容】

- ・ 各会場で競技が実施される全日程について、競技開始の2時間前から競技終了まで現地に職員を配置し、施設の巡回点検や不具合発生時の対応等を行った。全競技日程を通じ、延べ207人を配置した。
- ・ 選手村プレオープン日から閉村日まで延べ135人を配置し、組織委員会等と協力し巡回点検や不具合対応を行うとともに、レガシー部分に係る損傷等の維持補修や原状回復について協議・調整を行った。

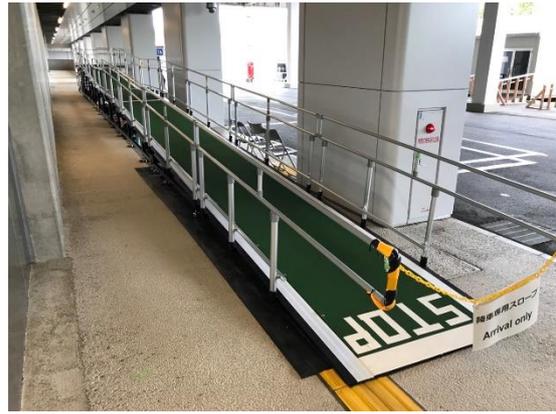
### ○ 移行期間中における取組

#### 【競技会場】

- ・ オリンピック期間中に発生した軽微な不具合で応急処置を講じた事案について、移行期間に修繕等の対応を行った。
- ・ パラリンピックに向け、施設・設備の状態をあらためて点検した。
- ・ 組織委員会において、選手の動線に合わせた仮設スロープ等を追加で設置した。



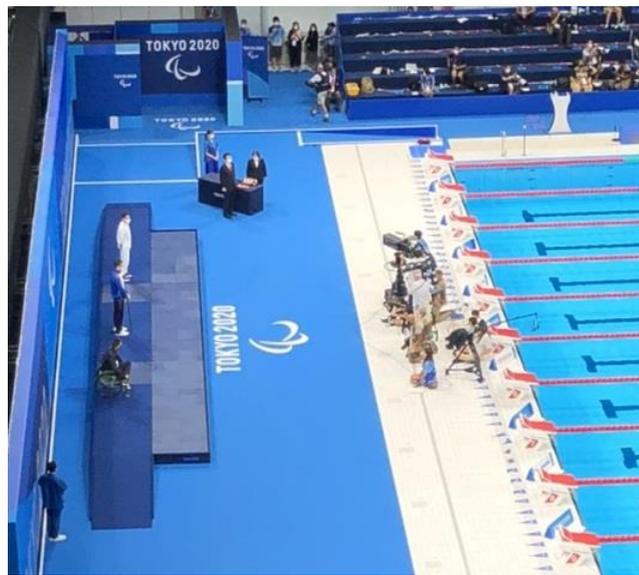
(プールサイドにスロープ設置)



(アスリート向けバス乗降用スロープ)



(車いす用関係者スペース)



(スロープ付き表彰台)

### 【選手村】

- ・各国選手団の退去時に、居室等の設備等に損傷があった場合、組織委員会や特定建築者とともに確認し、原状回復に向けた調整を行った。

### ○ 施設管理班の活動まとめ (オリ・パラ期間を通じて)

競技会場に延べ 739 名、選手村に延べ 371 名の、計 1110 名の職員を配置し、組織委員会や特定建築者等との連携・協力体制のもと、施設を適切に維持し、施設管理班としての役割を全うすることができた。

### 【競技会場】

- ・オリ・パラ期間を通じ、各会場を良好な状態で維持することができ、大会運営に影響を与えるような施設面の不具合なく大会を終了

### 【選手村】

- ・オリ・パラ期間を通じ、宿泊棟などを良好な状態で維持することができ、選手の滞在に影響を与えるような施設面の不具合なく大会を終了

## 大会輸送

### 【オリンピックに向けた取組】

#### ○ 経過・トピック

##### 【経過】

- 7/1 輸送センター開設
- 7/7 選手村プレ開村  
OF 輸送サービス開始（～8/11）
- 7/8 輸送センター本格稼働（24 時間体制）
- 7/9 メディア輸送サービス開始（～8/11）
- 7/13 選手村開村  
選手/NOC 輸送サービス開始（～8/11）  
入国輸送サービス本格化（～7/22）
- 7/19 交通マネジメント（TDM、ロードプライシング、TSM）開始  
（～8/9）
- 7/23 開会式（式典輸送に伴う交通規制及び式典出席者の輸送を実施）
- 8/8 閉会式（式典輸送に伴う交通規制及び式典出席者の輸送を実施）
- 8/9 出国輸送サービス本格化（～8/11）
- 8/11 選手村閉村

【交通量・平均断面交通量（※速報値）】

		高速道路 (概ね外環内側)	一般道路 (概ね外環内側)
オリ大会期間 (2021/07/19～ 2021/08/09)	平日	12.4%減	3.0%減
	休日	32.2%減	6.9%減

※2018年比の断面交通量（国交省道路局 HP [トラカンデータ] より）  
[2018年比は、2018年の同月同曜日との平均値を使用]

渋滞状況（高速道路） 朝ピーク



【人流（TDMの重点取組地区：16地区）（※速報値）】

		通勤時間帯 (7:00～8:00)	日中時間帯 (14:00～15:00)
オリ大会期間 (2021/07/19～ 2021/08/08)	平日	2.7%減	7.9%減
	休日	1.1%減	8.9%減

※大会前の7月上旬比の滞在人口

[7月上旬比は、平日：7/5～7/9、休日：7/3・4 7/10・11の平均値を使用]  
(※ドコモ・インサイトマーケティングの「モバイル空間統計」データを利用し東京都で作成)

## 【輸送サービス】

選手や関係者等の入国から、開閉会式、選手村等と競技会場等との往復、出国までの輸送を実施

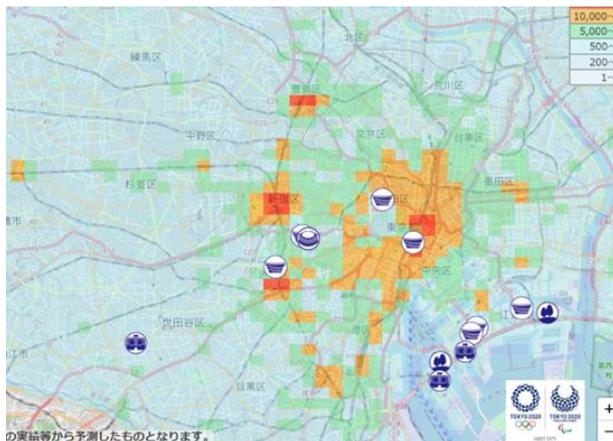
## 【各局等の応援状況】

入国対応、開閉会式、選手村T Aモール、各競技会場、フリースポーツオペレーションセンター、バスオペレーションセンター、オリンピックファミリーホテルなどの輸送運営に、都市整備局、教育庁、交通局オリンピック・パラリンピック準備局の職員（約90人）による人的支援を行い、各現場でコアな業務に従事。円滑できめ細かな輸送サービスを実現した。

## 【混雑予報】

都内の明日の混雑予報をHPにて公開。主要繁華街や競技会場についてはピクトグラムで混雑予報が確認できるようにしている。加えて、メールマガジンやSNSにて交通規制の情報や感染拡大防止の取組へのご協力をお願いを毎日配信した。

（都心部混雑予報例）



【凡例】  
500m×500mあたりの人口  
 25,000人～  
 10,000人～  
 5,000人～  
 0人～

（都内競技会場周辺の混雑予報）

日付	2021年8月10日（火）				
	6～9	9～12	12～15	15～18	18～21
渋谷					
新宿					
銀座					
池袋					
六本木					
新橋					
上野					
吉祥寺					

日付	2021年8月10日（火）				
	6～9	9～12	12～15	15～18	18～21
オリンピックスタジアム					
東京体育館					
国立代々木競技場					
日本武道館					
東京国際フォーラム					
国技館					
両国公園					
両国野球場					
東京スタジアム					
武蔵野の森公園					
有明アリーナ					
有明体育競技場					
有明アーバンスポーツパーク					
有明テニスの森					
台場海浜公園					
海浜公園					
青海アーバンスポーツパーク					
大井スポーツ競技場					
海の森タロスコントロールコース					
海の森水上競技場					
カヌー・スラロームセンター					
夢の島公園アーチェリー場					
東京アクアティクスセンター					
東京臨海硬式野球場					

## ○ 総括

- 交通マネジメント（TDM、料金施策、TSM）などの適切な運用により、大幅に交通量が減少し、選手や大会関係者の円滑できめ細かい輸送サービスを実現した。
- 現場に入った応援職員の連携と課題解決の努力により、ニーズに応じた質の高い輸送サービスを実現した。

## 【パラリンピックに向けた取組】

### ○ 経過・トピック

#### 【経過】

- 8/17 選手村開村  
選手/NOC 輸送サービス開始（～9/8）  
メディア輸送サービス開始（～9/7）  
入国輸送サービス（～8/23）
- 8/24 開会式（式典輸送に伴う交通規制及び式典出席者の輸送を実施）  
交通マネジメント（TDM、ロードプライシング、TSM）開始  
（～9/5）
- 9/5 閉会式（式典輸送に伴う交通規制及び式典出席者の輸送を実施）  
  
出国輸送サービス（～9/8）
- 9/8 選手村閉村、輸送センター閉設

#### 【交通量・平均断面交通量（※速報値）】

		高速道路 (概ね外環内側)	一般道路 (概ね外環内側)
パラ大会期間 (2021/08/24～ 2021/09/05)	平日	約 15%減	約 4%減
	休日	約 32%減	約 7%減

※2018 年比の断面交通量（国交省道路局 HP [トラカンデータ] より）

[2018 年比は、2018 年の同月同曜日との平均値を使用]



**【人流（TDMの重点取組地区：16地区）（※速報値）】**

		通勤時間帯 (7:00～8:00)	日中時間帯 (14:00～15:00)
パラ大会期間 (2021/08/24～ 2021/09/05)	平日	約4%減	約11%減
	休日	約2%減	約9%減

※大会前の7月上旬比の滞在人口

[7月上旬比は、平日：7/5～7/9、休日：7/3・4 7/10・11の平均値を使用]  
(※ドコモ・インサイトマーケティングの「モバイル空間統計※」データを利用し東京都で作成)

**【輸送サービス】**

選手や関係者等の入国から、開閉会式、選手村等と競技会場等との往復、出国の輸送を実施

**【アクセシビリティ】**

選手村や3箇所の競技会場の選手用バス発着場には、車いすで乗降できるように仮設スロープを設置。また、突発的な需要増に対応するため、車いすのまま乗車できる装備の乗用車（アクセシブルフリート）を配備し、選手の輸送需要に対応



【選手用バス発着場の仮設スロープ】

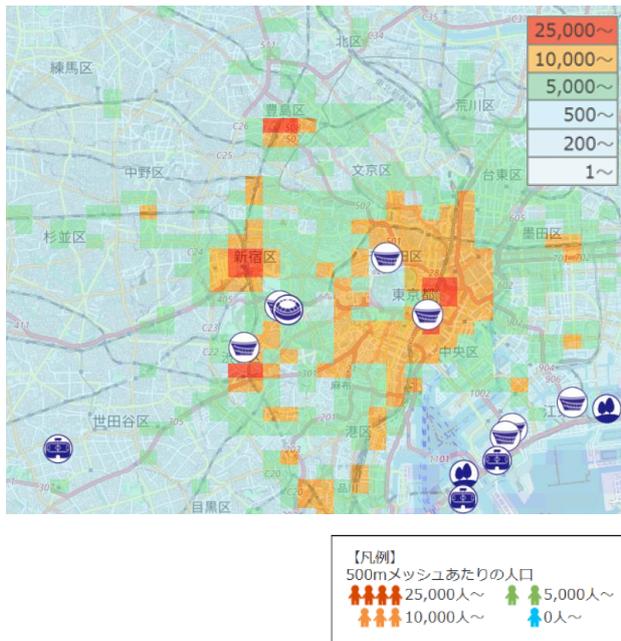


【アクセシブルフリート】

**【混雑予報】**

都内の混雑予報や主要繁華街や競技会場周辺の混雑予報を実施。加えて、メールマガジンやSNSにて交通規制の情報や感染拡大防止の取組へのご協力をお願いを毎日発信

(都心部混雑予報の例)



(都内競技会場周辺の混雑予報の例)

日付	2021年8月31日(火)				
	6～9	9～12	12～15	15～18	18～21
浅草					
新宿					
銀座					
池袋					
六本木					
新橋					
上野					
吉祥寺					

日付	2021年8月31日(火)				
	6～9	9～12	12～15	15～18	18～21
オリンピックスタジアム					
東京体育館					
国立代々木競技場					
日本武道館					
東京国際フォーラム					
国技館					
豊平公園					
墨田区の森総合スポーツプラザ					
有明アリーナ					
有明体育競技場					
有明テニスの森					
お台場海浜公園					
高津アーバンスポーツパーク					
海の森水上競技場					
夢の国公園アーチェリー場					
東京アクアティクスセンター					

<9月5日配信> メルマガ Vol. 144～東京2020パラリンピック競技大会閉会式 抜粋

こんにちは。2020TDM推進プロジェクト運営事務局です。

本日は、13日間に及ぶパラリンピック大会が閉幕します。ご自宅の特等席で、式典の全容がわかるテレビやインターネット中継で、最後の東京2020大会閉会式をぜひお楽しみください！

なお、閉会式開催に伴い、大規模な交通規制が実施されます。

<https://olympics.com/tokyo-2020/ja/news/transportation-notice/tra-ceremony>

オリンピックスタジアム周辺：14時～26時 国会周辺：14時～20時 . . . . .

混雑回避へのご協力をお願いいたします。

## ○ 総括

- ・都民や企業のご協力により交通量が低減したことで、交通マネジメント（TDM、料金施策、TSM）が適切に機能し、その結果、オリンピック期間と同様に、選手や大会関係者の円滑できめ細かい輸送サービスを実現
- ・リフト付きバスや専用の乗降場、アクセシブルフリートを活用し、立位（ご自身で歩いて着座できる方）、移乗（車いす利用者のうち車内で座席に座れる方）、車いすを固定して乗車される方など多様な利用方法に対応し、期間を通じてその運用の習熟度合いを高めて、安全で円滑な移動を実現

# 競技関連

## 【オリンピックに向けた取組】

### ○ 経過・トピック

#### 1 競技結果概要

JOCと連携し、各競技の正式な結果を入手し、報告した。また、路上競技・都立練習会場の風景や、選手村の様子なども適宜追加してレポートした。

- ・ 入賞者数：135（金：27、銀：14、銅：17、4位～8位：77）
- ・ 国別メダルランキング（金メダル数）では第3位

順位	国名	金	銀	銅	合計
1	アメリカ合衆国	39	41	33	113
2	中華人民共和国	38	32	18	88
3	日本	27	14	17	58
4	英国	22	21	22	65
5	ROC	20	28	23	71
6	オーストラリア	17	7	22	46
7	オランダ	10	12	14	36
8	フランス	10	12	11	33
9	ドイツ	10	11	16	37
10	イタリア	10	10	20	40

#### 2 競技時間、会場の変更等

台風や暑さへの対応について、MOCからの報告だけでなく、組織委員会の各会場チームに適宜実態を確認し、正確な情報をタイムリーに報告した。

##### (1) 台風の影響による主な変更（セッションスケジュールの調整）

- ・ アーチェリー（7/27） 27日午前のセッションを28-29日に分散実施
- ・ ボート（7/26, 27） 26日と27日のセッションをキャンセル、それぞれ24-25日、28-30日に分散実施
- ・ サーフィン（7/28） 28日のセッションを27日に前倒しして実施（※強風により、良い波が来たため）

##### (2) 暑さを考慮した主な変更（セッションスケジュールの調整、会場変更）

- ・ テニス（7/30-8/1） 12:00-20:00 ⇒ 15:00-23:00
- ・ ゴルフ（8/6） 7:30-16:00 ⇒ 7:30-14:00
- ・ 女子サッカー（8/6） 11:00-13:00 ⇒ 21:00-23:00  
オリンピックスタジアム ⇒ 横浜国際総合競技場
- ・ 女子マラソン（8/7） 7:00スタート ⇒ 6:00スタート

#### 3 その他（お台場海浜公園の水質対策）

- ・ 2020大会のお台場海浜公園の水質対策として、組織委員会が三重の水中スクリーンの設置や、競技水域の水温を下げることでできる水流発生装置を導入
- ・ その結果、トライアスロン、マラソンスイミングともに、IFの基準を達成する水質を確保し、大会は問題なく終了

## ○ 総 括

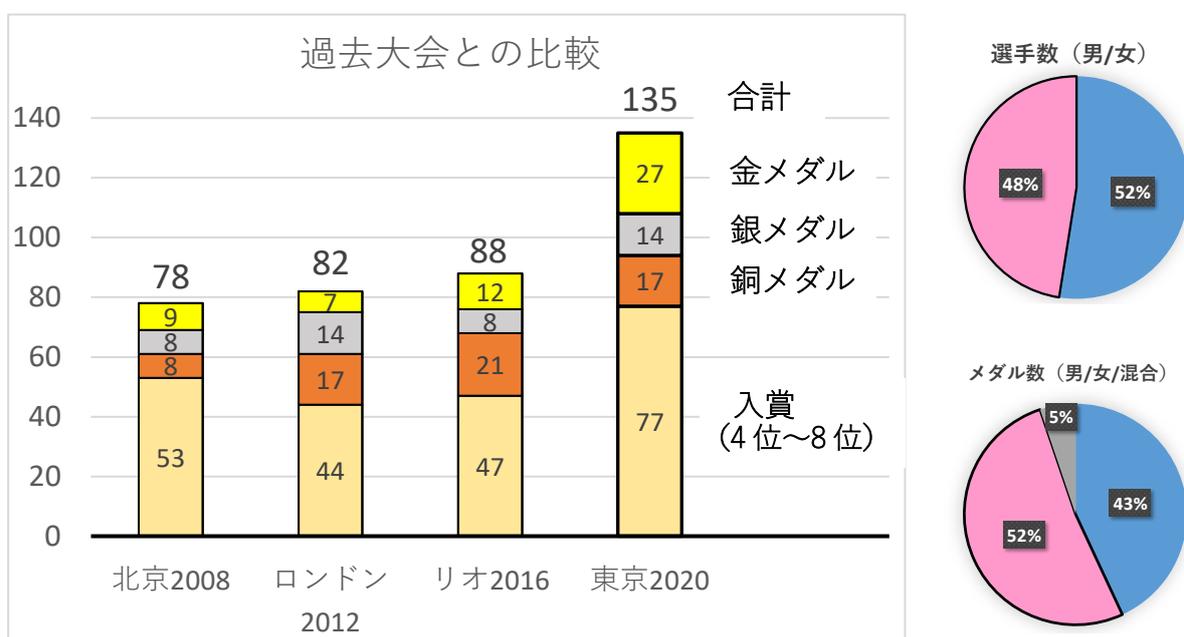
### 1 競技結果概要

(1) 過去最高の成績（メダル合計、金メダル合計共に史上最多）

- ・ 政府の競技力向上予算(\*)による各NFの取組、JOCエリートアカデミー等の強化施策による成果 (\*2016年81億→2020年101億→2021年103億)
- ・ 女性アスリートの活躍（女性アスリートがより多くのメダルを獲得）

(2) その他のトピック

- ・ ソフトボール・野球は全勝で金メダル（ソフトは連覇、野球は37年ぶり）
- ・ 女子初の卓球 メダル3個（混合：金、団体：銀、シングルス：銅）
- ・ 史上最年少13歳の金メダル（スケートボード女子ストリート 西矢椛）
- ・ 女子初の競泳 金メダル2個（競泳女子400m・200m個人トローレ 大橋悠衣）
- ・ 女子初のボクシング 金メダル（フェザー級54-57kg 入江聖奈）



### 2 運営

- ・ 競技会場内の運営に関しては各会場で大きなトラブルは見られなかった。
- ・ 開会当初は、選手やT.Oの輸送にかかるバスの運行に一部混乱があったが、大会開始後一週間程度でスムーズな輸送が実現した。
- ・ 台風8号、10号の接近や、熱中症嚴重警戒が発出される猛暑など、気候の状況に対応し、組織委員会がIOC及びIFと協議してセッションスケジュールの変更や会場変更等を実施したが、意思決定から関係者への伝達までは非常に迅速であった。（競技・渉外課からは、必要に応じて、スポーツ局や会場運営局の総括及び各会場チームに連絡し、情報の収集・確認を行うとともに、IOC、IF、組織委員会が決定した内容を関係部署等へ速やかに情報提供した。）
- ・ 競技日程の変更については、選手への連絡や大会運営の進捗状況などを踏まえた適切なタイミングでの判断が必要である。
- ・ 競技運営を含め、大会運営全般について、IOCから“Well organized”（円滑な運営）と、高い評価を得ている旨、MOCアップデート会議で報告があった。

## 【パラリンピックに向けた取組】

### 1 競技結果概要

#### 【日本代表選手団のメダル獲得状況】

- ・金メダル：13個、銀メダル：15個、銅メダル：23個

順位	国名	金	銀	銅	合計
1	中華人民共和国	96	60	51	207
2	英国	41	38	45	124
3	アメリカ合衆国	37	36	31	104
4	RPC（ロシア）	36	33	49	118
5	オランダ	25	17	17	59
6	ウクライナ	24	47	27	98
7	ブラジル	22	20	30	72
8	オーストラリア	21	29	30	80
9	イタリア	14	29	26	69
10	アゼルバイジャン	14	1	4	19
11	日本	13	15	23	51
12	ドイツ	13	12	18	43
13	イラン・イスラム共和国	12	11	1	24
14	フランス	11	15	28	54

- ・国別メダルランキング（金メダル数）では第11位

#### 【過去大会との比較】

- ・2004年アテネ大会に次ぐ成績（メダル合計）
- ・金、銀、銅すべてのメダル獲得数で過去3大会を上回る成績

開催年	開催都市	金	銀	銅	合計
2004	アテネ	17	15	20	52
2008	北京	5	14	8	27
2012	ロンドン	5	5	6	16
2016	リオデジャネイロ	0	10	14	24
2020	東京	13	15	23	51

### 2 競技時間の変更等（セッションスケジュールの調整等）

暑さや雨等への対応について、MOCからの報告だけでなく、組織委員会の各会場チームに適宜状況を確認し、正確な情報をタイムリーに報告した。

#### （1）暑さを考慮した主な対応

- ・車いすテニス  
8/27-30 空調管理下で競技が可能なセンターコートを除き、屋外コートの一部の試合を WBGT が競技基準内となった夕方以降に開始

## (2) 雨（雷含む）を考慮した主な変更

- ・ 車いすテニス  
雨のため、屋根のあるセンターコートに変更  
9/1 11:00～20:00（センターコート）  
11:00～20:00（屋外コート1）  
⇒ コート1で実施予定の試合の一部をセンターコートで実施
- 9/2 12:00～20:00（センターコート）  
12:00～20:00（屋外コート1）  
⇒ 10:00～23:00（全てセンターコート）
- 9/3-4 12:00～18:00（センターコート）  
⇒ 10:00～20:00（センターコート）
- ・ アーチェリー  
雷の予報が出ていたため、翌日に変更  
8/31 17:30～21:20 ⇒ 9/1 9:00～12:50

## (3) 競技運営を考慮した主な変更

- ・ 車いすバスケットボール  
平均競技時間が想定より長くかかっていたことから、終了時間を後ろ倒し  
（8/31-9/5は15分間延長、9/4のみ30分間延長）
- ・ ボッチャ  
選手の辞退による試合数減少のため、開始時間を後ろ倒し  
8/31 9:30～14:20 ⇒ 10:45～14:20

## 3 その他（お台場海浜公園の水質対策）

- ・ 2020大会のお台場海浜公園の水質対策として、組織委員会が三重の水  
中スクリーンの設置や、競技水域の水温を下げるができる水流発生装  
置を導入
- ・ その結果、トライアスロンについて、水質・水温ともにIFの基準を達成  
し、大会は問題なく終了

## 気運醸成

### 【オリンピックに向けた取組】

#### ○ 特設WEBサイト「みんなの東京2020応援チャンネル」開設（7/21～） 集客型のライブサイト・PVの見直しに伴うデジタル対応

##### 1 オンライン配信「みんな de 応援 オリ×パラ！みどころ配信局」

オリンピック・パラリンピックに共通する競技（テニス、柔道、バスケット）をテーマに3回ライブで実施

※8月19日時点累計視聴数

25.6万回（大会終了まで視聴可能）



##### 2 オンライン配信「インターナショナルデー パフォーマンス」

- ・ラオス・メキシコ等大使館推薦の団体が民族舞踊や歌をライブで披露
- ・ZOOMで、各国から100人以上がライブ視聴し、チャットで声援

##### 3 都内・被災地の団体のパフォーマンス動画

- ・伝統芸能、歌、舞踊等、ご参加の59団体分を掲載済。今後8団体分を追加予定



インターナショナルデー



都内団体のパフォーマンス（日比谷野外音楽堂）

#### ○ パラリンピックギャラリー銀座（7/20～）

- ・大会期間中、「競技・選手を知る」「パラリンピックを体感する」というコンセプトの下、様々な企画を実施

（主なコンテンツ）

- 競技体験（ボッチャ、VRレーサー等）
- IPC初の公式ゲーム体験
- アスリート写真展示



ギャラリー外観

- ・入場者数をコントロールしつつ、実際に来場しなくてもWEBサイトから会場内の様子やコンテンツが見られる「360度バーチャルギャラリー」も実施
- ・会場からミニトークショーなどをライブ配信（期間中4回程度）

## ○ シティドレッシング・大規模展示物

2019年3月に策定・公表した「東京2020大会のシティドレッシング・大規模展示物基本計画」に基づき、大会の延期に伴って掲出時期等を見直した上で、フラッグやバナー等による装飾や、大規模展示物の設置を実施

### 1 シティドレッシング

・令和3年4月以降、都内の道路、空港、駅等をフラッグやバナー等で順次装飾

### 2 大規模展示物

・令和2年1月、お台場海浜公園に巨大なオリンピックシンボルを設置。点検・メンテナンスのため、同年8月に一時工場に移動し、

12月1日に再設置

・オリンピック100日前の令和3年4月14日に高尾山山頂のオリンピックシンボルと都庁舎のマスコット像とをオンラインで結び、メディア向けに同時お披露目。以降、その他のシンボル、マスコット像等を都内各所に順次設置



## ● 総括

### 1 シティドレッシング

【街路灯フラッグ 約2,500枚、駅45駅、空港（羽田・成田）】

・街路灯フラッグや駅のバナーなど、街中の装飾を通じて、大会の雰囲気を高めた。また、空港の国際線ターミナルを装飾し、海外からの選手や大会関係者等を歓迎した。

### 2 大規模展示物

【シンボル6か所、マスコット像13か所、ワードマーク1か所、園芸装飾1か所】

・お台場のオリンピックシンボルは、大会の象徴として国内外の多くのメディアに取り上げられ、大会や東京の魅力を広く発信した。

・高尾山のオリンピックシンボルなど、都内各所のシンボル、マスコット像等を通じて、設置場所を訪れた方に大会を身近に感じてもらい、気運を盛り上げた。

## ○ 有明聖火台の点火式

世界初の水素聖火台のPRのため世界に発信するとともに、大会の記録を残すため、次の通り、有明聖火台の点火式を実施

- 1 日時 令和3年7月23日（金）24時45分から24時50分まで
- 2 場所 東京臨海部 夢の大橋 有明側
- 3 撮影者 都庁及び組織委員会のオフィシャル、  
OBS（ムービー）、IOC（スチール）
- 4 点火者 高橋 礼華（たかはし あやか）さん  
リオ2016年大会 女子バドミントンダブルス金メダル



## ● 総括

- ・有明聖火台の記事掲載
- ・都及び組織委員会のホームページに、点火式の映像・写真を掲載
- ・オリンピック期間中、絶え間なく、聖火を継続点灯
- ・オリンピック期間中は、感染症対策のため、有明聖火台の周辺を鉄柵で囲い、案内誘導員を配置して、密を回避。シティキャストの方々にもご支援いただいた。
- ・パラリンピックの開会式後も、パラリンピアンを点火者とした点火式を実施予定

## 【パラリンピックに向けた取組】

### ○ デジタルを活用した情報発信

自宅観戦に役立つ大会情報や競技・選手等を紹介する特設WEBサイトの開設

#### 1 みんなの東京 2020 応援チャンネル

- ・オンライン配信番組「みんな de 応援 オリ×パラ！東京 2020 みどころ配信局」  
第4回（8/24）「パラリンピック開幕直前スペシャル」  
オリンピックメダリスト8名によるボッチャの競技体験等
- ・被災地の団体のパフォーマンス動画 10本を追加（計 67 団体掲載）



#### 2 東京都パラリンピック応援サイト

- ・大会出場アスリート出演動画（5本）
- ・オンラインライブ配信番組「パラリンピックの見どころスペシャル」  
第2回（8/17）パラ応援大使・パラリンピアンによるトークショー  
第3回（8/20）国内外アスリート出演によるパラリンピック開幕スペシャル  
第4回（9/3）車いすラグビーメダリスト3名が出演してのトークショー
- ・パラリンピックマラソン応援・盛り上げ動画（8/24 から配信）
- ・WEB上でのパラリンピック競技体験（11 競技はVR）



○上記2つのWEBサイトを通じたオンライン配信番組・動画の視聴数累計は約 300 万回（7/20～9/6）

これは、ライブサイト・PVの都内来場者想定数 285 万人を上回る水準（主な内訳）

- |                                  |     |       |
|----------------------------------|-----|-------|
| ①大会出場アスリート出演動画（陸上）               | 視聴数 | 66 万回 |
| ②パラリンピックマラソン応援・盛り上げ動画            | 視聴数 | 51 万回 |
| ③みんな de 応援 オリ×パラ！東京 2020 みどころ配信局 | 視聴数 | 47 万回 |

### ○ パラリンピックの広報・PR

#### 1 パラリンピックギャラリー銀座の開設

- ・7月20日から9月5日までの48日間、感染症対策を行った上で、実際に見て体験できる場を提供（WEBサイトで、来場しなくても楽しめる「360度バーチャルギャラリー」も展開）
- ・来場者数 3,659 人（1日平均約 78 人）  
※パラリンピック大会期間は1日平均来場者 124 人と増加

- ・子供を中心にボッチャ・競技用車いす・VRレーサー（サイバーウィル）・IPC公式ゲーム体験が好評  
※ボッチャ日本代表がメダル獲得後は順番待ちが発生するなど、ボッチャ体験が人気
- ・オンラインライブ配信の会場としても活用
- ・シティキャスト 290 人が活動（7/30～9/5）



シティキャストによる案内



ギャラリー内の様子



## 2 パラリンピック応援のテレビ CM 放映

- ・出場選手 5 名の競技シーンとコメントからなる CM を通じて応援を広く呼びかけ
- ・8月20日から9月5日まで、関東ローカル放送（日本テレビ、TBS、フジテレビ、テレビ朝日、テレビ東京）の様々な時間帯で放映
- ・パラリンピックマラソンの直前期には、「自宅で応援」の広報も実施

## 3 注目選手・競技紹介の新聞折込チラシ

- ・開会日（8/24）に、22 競技の見どころ等をまとめた新聞折込チラシを、都内 6 紙（読売・朝日・毎日・産経・東京・日経）の朝刊（約 250 万部）で配布



新聞折込チラシ

## 4 自宅観戦用パラリンピックマラソン PR リーフレット・見どころマップ

- ・競技解説、見どころ紹介、注目選手情報等を掲載したリーフレットや見どころマップをWEBサイトに掲載するとともに、都庁舎や区市町村窓口などで配布



PR リーフレット



見どころマップ

## 5 パラスポーツ写真展・展示

- ・都庁第一・第二本庁舎で、競技写真や東京ゆかりの選手の紹介パネル等を展示
- ・E U N I C（欧州連合文化機関）による写真展（東京都共催）  
都議会議事堂1階都政ギャラリーで、8月18日から9月6日まで（土日祝日を除く）14日間実施。17カ国から出展（WEBサイトにも作品を掲載）  
EU11カ国の大使館関係者などを含め、484人が来場
- ・TEAM BEYOND パラスポーツ漫画パネル展  
7/23～9/5 WHO I AM HOUSE（江東区豊洲）内  
8/23～9/5 東京都メディアセンター内



東京ゆかりアスリート紹介パネル



E U N I Cパラアスリート写真展



TEAM BEYOND パラスポーツ漫画パネル展

## 6 東京ゆかりアスリートの応援

- ・「Tokyo's Athletes in the 2020 Games」をスポーツTOKYOインフォメーション内に開設。出場選手の紹介、競技実施日程、競技結果を順次掲出
- ・ツイッターにより、東京ゆかりアスリート（62名）出場の際に、応援を呼びかけ、入賞選手にお祝いメッセージを発信。毎朝、その日のテレビ放送予定も発信。パラリンピッククイズ等の楽しめるツイートも実施  
8月17日から9月5日まで実施



## 7 SNSを通じたアスリート応援

- ・#NURIEdeART\_パラ応援  
IPC特別親善大使の香取慎吾さんが、大会やパラアスリート応援をテーマにしたぬりえを作成。都と香取慎吾さんのツイッターアカウントで、ぬりえの投稿を通じた応援を呼びかけ  
※香取慎吾さんのPR動画は約23万回再生、ツイートの閲覧数は約180万回（9月6日時点）  
※今後、投稿された中から、香取慎吾さんがセレクトしたぬりえを発表予定

## ○ シティドレッシング・大規模展示物

### 1 パラリンピックシンボルへの転換

オリンピック終了後、オリンピックシンボルをパラリンピックシンボルに置き換え

- ・ 都立お台場海浜公園水域
- ・ 高尾山山頂
- ・ 東京都庁舎（第一本庁舎）
- ・ 東京都庁舎（第二本庁舎）
- ・ 羽田空港（第3旅客ターミナル）
- ・ 成田空港（第1旅客ターミナル）
- ・ <園芸装飾>都立日比谷公園



### 2 パラリンピック期間中の取組

オリンピックに引き続き、街路灯フラッグや駅のバナーなど街中の装飾を通じて大会の雰囲気高めるとともに、都内各所のシンボル、マスコット像等の展示を通じて、気運を盛り上げ

### 3 パラリンピックシンボルの撤去

閉会式翌日の9月6日に、お台場のパラリンピックシンボルを撤去。  
多くのメディアが当日の様子を報道

## ○ 有明聖火台

### 1 有明聖火台の点火式

世界初の水素聖火台のPRのため世界に発信するとともに、大会の記録を残すため、次の通り、有明聖火台の点火式を実施

- ・ 日 時 : 令和3年8月24日(火) 23時30分から23時50分まで
- ・ 場 所 : 東京臨海部 夢の大橋 有明側
- ・ 撮影者 : 都庁記者クラブ代表、  
都庁及び組織委員会のオフィシャル、OBS(ムービー)、
- ・ 点火者 : 多川 知希(たがわ ともき)さん  
リオ2016年大会 4×100mリレー銅メダル



## ● 総括

- ・ 有明聖火台の記事掲載
- ・ 都及び組織委員会のホームページに、点火式の映像・写真を掲載
- ・ パラリンピック期間中、聖火を継続点灯
- ・ パラリンピック期間中も感染症対策のため、有明聖火台の周辺を鉄柵で囲い、案内誘導員を配置して、密を回避。シティキャストの方々にもご支援いただいた。

## 東京スポーツスクエア・メインプレスセンターシティインフォメーション

### 【オリンピックに向けた取組】

#### ○ 東京スポーツスクエア（TSS）

##### 1 建物総括

###### (1) 目的

東京を訪れるメディアや都民に対し、大会の情報や開催都市東京の魅力を発信

###### (2) 実施状況 ※8月8日時点

- ・実施期間：7月19日（月）～
- ・施設利用者数合計 約2万8千名  
（大会PR展示・TMC・産業イベント(TTAJC)、公式ライセンス商品ショップ）

##### 2 大会PR展示

- ・展示や動画上映を通して、開催都市や被災地自治体の情報を発信

##### 3 Tokyo Tokyo All Japan Collection（産業労働局）

- ・都内の商工業、観光産業、農林水産業、食の魅力を発信
- ・全国自治体と連携し、日本各地のPRを実施

##### 4 東京都メディアセンター（政策企画局）

- ・オンラインサービスを基軸としつつ、国内外メディアの取材スペースとして施設サービスを提供
- ・オンラインブリーフィングの上映による開催都市・東京の情報、東京の将来像や魅力等を発信
- ・各局と連携し、震災復興、伝統文化、水道技術等の都の取組を発信

##### 5 シティキャストの活動

- ・大会への応援メッセージを掲載
- ・東京や地域の魅力発信の公開収録を実施
- ・大会PR展示や東京メディアセンターを案内

#### ● 総括

- ・シティキャストと連携して、オンラインを活用し、東京の魅力を効果的に発信した。

##### 1 大会PR展示

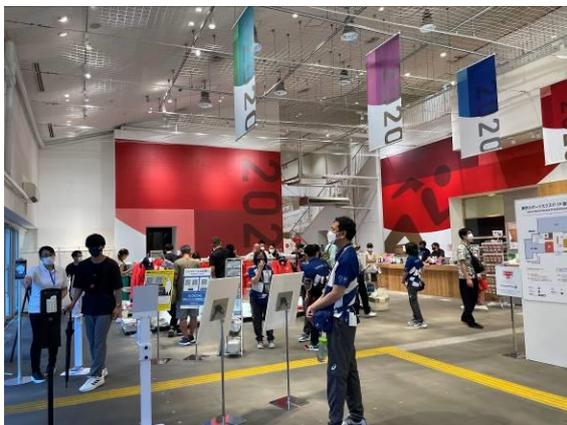
- ・多くの方に大会関連のパネルや動画、シティキャストからの応援メッセージを見ていただくとともに、大会マスコット像での撮影を行っていただくなど、東京大会の魅力を発信できた。

## 2 Tokyo Tokyo All Japan Collection (産業労働局)

- ・全国自治体・団体・中小企業など、多くの出展者の参画により、東京や日本、全国各地の多彩な魅力を発信することができた。

## 3 東京都メディアセンター (政策企画局)

- ・国内外のメディアに作業スペースや取材活動拠点として利用いただくとともに、オンラインブリーフィングの放映・文化展示等を通じて、開催都市・東京の取組を発信することができた。
- ・大会期間を通じて、国内外のメディアに活用いただくとともに、施設内での生放送・配信などメディアの発信拠点として活用された。
- ・JNTO、国税庁等と連携して日本文化の発信を行った。



エントランス (大会 PR 展示)



シティキャストによる東京の魅力発信収録



Tokyo Tokyo All Japan Collection



Tokyo Tokyo All Japan Collection



東京都メディアセンター



東京都メディアセンターにおける  
メディアによる生配信

## ○ MPC シティインフォメーション



シティインフォメーション

### 1 シティインフォメーションブースでの情報発信

#### (1) 実施内容

##### ①東京の魅力に関する情報提供

- ・パンフレットや TOKYOTOKYO グッズ等の配布

##### ②東京都メディアセンターのオンラインサービスの案内

#### (2) 実施状況

- ・実施期間：7月1日（木）～8月8日（日）
- ・来場者数：約5,800人
- ・問合せ件数：約3,900件

### 2 公認メディアを対象とした取材機会の提供

#### (1) 目的

入国14日以内の公認メディアを対象に取材機会を提供し、東京の魅力を広く発信

#### (2) 実施状況

貸切バスでの移動により、一般の方と交わらないよう、感染症対策を徹底した上で実施

- ・実施期間：7月19日（月）～8月7日（土）
- ・ツアー実施回数：37回
- ・参加者数（のべ）：476人
- ・参加メディア数：125社

#### (3) 訪問先

- ・東京都視察船による選手村や競技会場周辺の案内
- ・浜離宮庭園 等

#### (4) 感染防止対策

- ・営業時間前後に訪問するなど一般の方との動線を分離
- ・体温計測及び各訪問先での手指消毒の実施、ソーシャルディスタンス確保を徹底

#### (5) 参加メディアからの感想等

- ・景観等の撮影に加えて、レポーターを交えて大会関連の番組収録のための機会としてツアーを活用している例も多く見られた。
- ・外出制限中で取材機会が得られたことに感謝するとの声や感染症対策がしっかり取れており、安心して取材ができたとの声が多数寄せられた。

## 【パラリンピックに向けた取組】

### ○ 東京スポーツスクエア（TSS）

#### 1 建物総括

##### （1）目的

東京を訪れるメディアや都民に対し、大会の情報や開催都市東京の魅力を発信

##### （2）実施状況

- ・実施期間：8月23日（月）～ 9月5日（日）
- ・施設利用者数合計 約1万1千名  
（大会PR展示・TMC・産業イベント(TTAJC)、公式ライセンス商品ショップ）

#### 2 大会PR展示

- ・展示や動画上映を通して、開催都市や被災地自治体の情報を発信

#### 3 Tokyo Tokyo All Japan Collection（産業労働局）

- ・都内の商工業、観光産業、農林水産業、食の魅力を発信
- ・全国自治体と連携し、日本各地のPRを実施

#### 4 東京都メディアセンター（政策企画局）

- ・オンラインサービスを基軸としつつ、国内外メディアの取材スペースとして施設サービスを提供
- ・オンラインブリーフィングの上映による開催都市・東京の情報、東京の将来像や魅力等を発信
- ・各局と連携し、パラリンピック競技の魅力や多様性・包摂性に関する企画・コンテンツを重点的に発信するとともに、震災復興、伝統文化等の都の取組を発信

#### 5 シティキャストの活動

- ・大会への応援メッセージを掲載
- ・東京や地域の魅力発信の公開収録を実施
- ・大会PR展示や東京メディアセンターを案内

#### 6 総括

- ・シティキャストと連携して、オンラインを活用し、東京の魅力を効果的に発信した。

##### （1）大会PR展示

- ・多くの方に大会関連のパネルや動画、シティキャストからの応援メッセージを見ていただくとともに、大会マスコット像での撮影を行っていただくなど、東京大会の魅力を発信できた。

## (2) Tokyo Tokyo All Japan Collection (産業労働局)

- ・全国自治体・団体・中小企業など、多くの出展者の参画により、東京や日本、全国各地の多彩な魅力を発信することができた。
- ・障害者の自立を支援する団体や、都立産業技術研究センターとの共同研究で障害者スポーツの用具開発を進める企業なども出展し、多くの出展者の参画により東京や日本各地の多彩な魅力を発信した。

## (3) 東京都メディアセンター (政策企画局)

- ・国内外のメディアに作業スペースや取材活動拠点として利用いただくとともに、オンラインブリーフィングの放映・パラリンピック関連企画や文化展示等を通じて、開催都市・東京の取組や多様性・包摂性に関する都の取組を発信することができた。
- ・大会期間を通じて、国内外のメディアに活用いただくとともに、施設内での生放送・配信などメディアの発信拠点として活用された。
- ・JNTO、国税庁等と連携して日本文化の発信を行った。



エントランス (大会 PR 展示)



シティキャストによる東京の魅力発信収録



Tokyo Tokyo All Japan Collection (全国 PR)



Tokyo Tokyo All Japan Collection  
(障がいのある方々が創るフレンチレストラン)



東京都メディアセンターにおける  
パラアスリートへのインタビュー



東京都メディアセンターにおける  
パラリンピック競技体験の撮影

## ○ MPC シティインフォメーション



シティインフォメーション

### 1 シティインフォメーションブースでの情報発信

#### (1) 実施内容

##### ①東京の魅力に関する情報提供

- ・パンフレットや TOKYOTOKYO グッズ等の配布

##### ②東京都メディアセンターのオンラインサービスの PR や利用登録促進

#### (2) 実施状況

- ・実施期間：8月21日（土）～9月5日（日）
- ・来場者数：約2,200名
- ・問合せ件数：約2,000件

### 2 公認メディアを対象とした取材機会の提供

#### (1) 目的

入国14日以内の公認メディアを対象に取材機会を提供し、東京の魅力を広く発信

#### (2) 実施状況

貸切バスでの移動により、一般の方と交わらないよう、感染症対策を徹底した上で実施

バリアフリー対応を行い、車椅子の方にも参加いただいた。

- ・実施期間：8月23日（月）～9月3日（金）
- ・ツアー実施回数：16回
- ・参加者数（のべ）：140人
- ・参加メディア数：32社

#### (3) 訪問先

- ・東京都視察船による選手村や競技会場周辺の案内
- ・ファンパーク・ファンアリーナ 等

#### (4) 感染防止対策

- ・営業時間前後に訪問するなど一般の方との動線を分離
- ・体温計測及び各訪問先での手指消毒の実施、ソーシャルディスタンス確保を徹底

#### (5) 参加メディアからの感想等

- ・景観等の撮影に加えて、レポーターを交えて大会関連の番組収録のための機会としてツアーを活用している例も多く見られた。
- ・各訪問先を熱心に取材しており、日本の文化や東京をもっと知りたいという感想も寄せられた。
- ・取材機会が得られたことに感謝する、最大限活用させてもらうとの声が寄せられた。

## 事前キャンプ・ホストタウン

### 【オリンピックに向けた取組】

#### ○ 経過・トピック

・事前キャンプ等実施状況

＜事前キャンプ＞4区4市1民間で実施

	自治体	国名	種目	人数	期間
1	杉並区	ウズベキスタン	ボクシング	47人	7/5～7/22
2	大田区	ブラジル	ボクシング	16人	7/12～7/22
			ハンドボール	91人	7/13～8/8
			ビーチバレーボール		7/13～7/23
			テコンドー	11人	7/15～7/19
3	新宿区	難民選手団	陸上競技、競泳等	27人	7/14～7/25
4	北区	ハンガリー	フェンシング	30人	7/18～7/22
5	府中市	オーストリア	卓球	13人	7/10～7/19
6	多摩市	アイスランド	陸上競技	3人	7/22～7/31
			競泳	5人	7/18～7/27
7	八王子市	アメリカ合衆国	スポーツクライミング	10人	7/22～8/3
8	日野市	ウクライナ	空手	9人	7/22～8/3
9	立飛HD (立川市)	パンアメリカンス ポーツ機構	競泳、柔道	69人	7/14～7/28
			ビーチバレー	3人	7/17～7/19
			陸上競技	42人	7/20～7/25

## <施設の貸出（ハイパフォーマンスセンター）> 8区で実施

※選手村や組織委員会手配ホテル等に滞在しながら自治体の施設を利用

	自治体	国名	種目	場所	利用期間
1	世田谷区	アメリカ	陸上等	区立大蔵運動場	7/4～8/16
2	港区	英国		港区立小中一貫教育校 お台場学園	7/10～8/11
3	板橋区	イタリア	バレーボール	区立小豆沢体育館	7/18～8/3
4	北区	ハンガリー	柔道	滝野川体育館	7/18～7/22
5	大田区	ブラジル	レスリング	大森スポーツセンター	7/20～7/29
6	中央区	ブラジル		中央区立豊海小学校	7/21～8/8
7	葛飾区	スロベニア	スポーツクライミング	東金町運動場スポーツクライミングセンター	7/27
		ドイツ			
8	杉並区	イタリア	カヌー	永福体育館	7/27～7/31

## <大会期間中の選手等とのオンライン交流> 2区2市で実施

	自治体	国名	実施日・参加人数等
1	杉並区	イタリア (カヌー)	7月29日 選手4名
		ウズベキスタン (ボクシング)	7月31日 選手2名
2	葛飾区	ドイツ (スポーツクライミング)	7月27日 選手2名
		スロベニア (スポーツクライミング)	7月27日 選手2名
3	立川市	ベラルーシ (新体操)	7月27日 宮城県白石市・柴田町・仙台大学と合同 による選手団の歓迎式
4	多摩市	アイスランド共和国 (競泳、陸上競技)	7月27日 市長と選手団とのオンライン交流会

## <大会出場後の選手等との対面での交流> 2区で実施

	自治体	国名	実施日・参加人数等
1	北区	ハンガリー (フェンシング)	7月31日 選手4名 (個人・金メダル)、小中学生30名
			8月1日 選手団12名、北区ハンガリー応援団員等37名
2	世田谷区	アメリカ (トライアスロン)	8月3日 選手1名、参加住民人数30名

・事前キャンプ等受入れの様子

<杉並区 ウズベキスタン>



<葛飾区 スロベニア ドイツ>



<北区 ハンガリー>



<府中市 オーストリア>



<日野市 ウクライナ>



<事前キャンプ、事後交流後の相手国からの感想等 ※報道より

- ・ キャンプ終了後に選手等から「よく準備と手配がされていて素晴らしかった」「選手村よりも、この場所にとどまりたい」などの評価を受けた。(立川市ーパナナム)
- ・ 「短い時間ではあったが、一緒に過ごせて楽しかった。」(北区ーハンガリー)
- ・ 「受け入れてくれてありがとう。良いキャンプ場を整えてくれて非常に感謝している。」(杉並区ーウズベキスタン)

<スクリーニング検査>

- ・ 実施期間：7月1日～
- ・ 対象自治体：15区市
- ・ 対象者：事前キャンプ等で自治体を訪問した選手、自治体職員、通訳等
- ・ 検査会社：株式会社江東微生物研究所
- ・ 検査方法：唾液による抗原定量検査
- ・ 検査結果 (8月8日時点)

	検査数 (A)	陽性疑い件数 <sup>※1</sup>	陽性者数 (B) <sup>※2</sup>	B/A
選手団・自治体職員等 計	9,566 件	14 件	1 人 <sup>※3</sup>	0.01%

※1 スクリーニング検査による検査結果

※2 医療機関による確定診断後の陽性者数

※3 陽性者概要 (7/12 立川市、内閣官房プレス公表済)

- ・ 事前キャンプの実施主体：立飛ホールディングス
- ・ 業務内容：選手等宿泊ホテルスタッフ (日本人)
- ・ 状況：選手受入前の検査で判明。選手等との接触なし

## ○ 総 括

- ・ 事前キャンプ等受入れ自治体においては、新型コロナウイルスの感染症対策を確実に実施するため、移動・宿泊・食事など場面ごとの対策を踏まえたマニュアルを作成するとともに、相手国 CLO との入国手続きに関する事前調整や陽性判定時の対応を地域の医療機関との事前調整など、苦慮しながらも調整を行い、万全な体制で各国選手団を受け入れた。
- ・ 受入期間中も、事前キャンプ等受入れ自治体は、空港から自治体への送迎、毎日のスクリーニング検査対応、場面ごとの感染症対策、選手団からの各種要望対応等にも適切に対応した。
- ・ 万全な感染症対策により、選手団からは陽性者を発生させることもなく、バブルを保った安全・安心な事前キャンプ等を実施することができた。
- ・ 一部の自治体では、オンラインなど創意工夫により、感染防止対策をとりつつ、住民との交流も行うことができた。
- ・ 事前キャンプに参加した国の選手からも金メダリストが誕生した。  
(北区：ハンガリー・フェンシング（男子サーブル個人）)
- ・ 都においても、入国手続きや受入マニュアル等について、内閣官房や受入自治体と緊密な連携、情報共有等を行うとともに、検査委託契約や事前調整を行うことで、自治体の事前キャンプ等の実施をサポートした。

## 【パラリンピックに向けた取組】

### ○ 経過・トピック

・事前キャンプ等実施状況

#### ＜事前キャンプ＞3区3市で実施

	自治体	国名	種目	人数	期間
1	三鷹市	チリ	アーチェリー	3人	8/6～8/21
			卓球	7人	8/6～8/21
2	品川区	コロンビア	パワーリフティング	6人	8/6～8/20
			ボッチャ	7人	8/8～8/22
3	江戸川区	チュニジア	陸上競技	33人	8/12～8/20
4	練馬区	エクアドル	陸上競技	21人	8/15～8/22
5	多摩市	アイスランド	水泳	6人	8/16～8/21
			陸上競技	6人	8/16～8/21
			自転車競技（ロード）	2人	8/16～8/21
6	町田市	インドネシア	バドミントン	11人	8/19～8/26

#### ＜施設の貸出（ハイパフォーマンスセンター）＞3区で実施

※選手村や組織委員会手配ホテル等に滞在しながら自治体の施設を利用

	自治体	国名	種目	場所	利用期間
1	世田谷区	アメリカ	陸上競技	区立大蔵運動場	8/17～8/28
2	港区	イギリス	トライアスロン	港区立小中一貫教育校お台場学園	8/24～8/28
3	江東区	オーストラリア	トライアスロン	江東区立越中島プール	8/23～8/27
		フランス	トライアスロン		8/26～8/30

#### ＜大会期間中の選手等とのオンライン交流＞1区で実施

	自治体	国名	実施日・参加人数等
1	文京区	難民選手団	9月3日 選手6名

※大会出場後に選手等と対面での交流を実施した自治体はなし

・事前キャンプ等受入れの様子

<三鷹市 チリ>



<品川区 コロンビア>



<江戸川区 チュニジア>



<練馬区 エクアドル>



<多摩市 アイランド>



<町田市 インドネシア>



<事前キャンプの相手国からの感想等 ※報道より

- ・「コロナのため市内を出歩けないのは残念だが、公開練習イベントで市民と触れ合えるので満足している」(三鷹市ーチリ)
- ・「練馬の皆様の温かい歓迎に感謝しています」(練馬区ーエクアドル)
- ・「町田市のみなさん、いつも温く迎えてくれてありがとうございます。今後もこのような交流を続けられればうれしいです。そして、町田市から桃田賢斗選手のような素晴らしい選手が出てくることを祈ります」(町田市ーインドネシア)

## <スクリーニング検査>

- ・実施期間：8月3日～27日
- ・対象自治体：8区市
- ・対象者：事前キャンプ等で自治体を訪問した選手、自治体職員、通訳等
- ・検査会社：株式会社江東微生物研究所
- ・検査方法：唾液による抗原定量検査
- ・検査結果

	検査数 (A)	陽性疑い件数 <sup>※1</sup>	陽性者数 (B)	B/A
選手団・自治体職員等 計	2,663 件	4 件	0 人	0.00%

※1 スクリーニング検査による検査結果

## ○ 総 括

- ・ 事前キャンプ等受入れ自治体においては、新型コロナウイルスの感染症対策を確実かつ適切に実施するため、移動・宿泊・食事など場面ごとの対策を踏まえたマニュアルを作成するとともに、相手国 CLO との入国手続きに関する事前調整や陽性判定時の対応を地域の医療機関との事前調整など、苦慮しながらも調整を行い、万全な体制で各国選手団を受け入れた。
- ・ 施設のバリアフリーなどについても、自治体は相手国と何度もやり取りを行いながら、ホテルや練習会場となる施設とも連携し、車いすでも不自由なく移動できるようにスロープを設置するなど、受け入れの準備を行った。
- ・ 受入期間中も、事前キャンプ等受入れ自治体は、空港から自治体への送迎、毎日のスクリーニング検査対応、場面ごとの感染症対策、選手団からの各種要望対応等にも適切に対応した。
- ・ 万全な感染症対策により、自治体の滞在中においては、選手団からは陽性者を発生させることもなく、バブルを保った安全・安心な事前キャンプ等を実施することができた。
- ・ 一部の自治体では、オンラインなど創意工夫により、感染防止対策をとりつつ、住民との交流も行うことができた。
- ・ 事前キャンプに参加した国の選手からも金メダリストが誕生した。

(江戸川区：チュニジア・女子砲丸投げ、女子円盤投げ(低身長 F41))

都においても、入国手続きや受入マニュアル等について、内閣官房や受入自治体と緊密な連携、情報共有等を行うとともに、検査委託契約や事前調整を行うことで、自治体の事前キャンプ等の実施をサポートした。

## 復興オリンピック・パラリンピック

### 【オリンピックに向けた取組】

#### ○ 経過・トピック

##### <大会開催前>

- ・3月25日に、福島県Jヴィレッジから聖火リレーがスタートし、6月には岩手県・宮城県を巡った。  
開会式では、3県の子どもたちがスタジアム内で聖火を運んだ。  
聖火リレートーチの素材には復興仮設住宅の廃材アルミも活用。
- ・6月6日、有明アリーナに、復興のシンボルとなる樹木（岩手・宮城・福島・熊本各県の県木）を植樹
- ・7月13日、オリンピックスタジアム横の聖徳記念絵画館前に、復興仮設住宅の廃材アルミを原材料とし、被災地の子どもたちからのメッセージを載せた「東京2020復興のモニュメント」を設置。  
8月1日には、バッハ会長も現地を訪問  
※大会終了後は各県へ移設し、レガシーとして活用予定

##### <大会期間中>

- ・福島県のあづま球場（無観客）で野球・ソフトボール競技を、宮城県の宮城スタジアム（有観客）でサッカー競技をそれぞれ開催
- ・選手に贈られるビクトリーブーケに被災県産の花を活用
- ・選手村ビレッジプラザの建築素材として、被災地産の木材を活用。  
また、選手村食堂では被災地産の食材も提供。  
8月5日からは食材の安全性をPRするポスターも掲示
- ・MPC、東京スポーツスクエア（TSS）に復興情報発信ブースやパネルを設置。  
MPCブースには、期間中に798名のメディアが来場。  
7月26日には、東京都メディアセンターで復興オリンピック・パラリンピックに関するブリーフィングを実施

#### ○ 総括

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、被災地でのライブサイトや観戦招待等、予定していた取組の一部が実施できなくなったものの、情報発信や被災地産品の活用等、可能な限りの取組を実施

## 【パラリンピックに向けた取組】

### ○ 移行期間中における対応の事例

- ・パラリンピック聖火リレーでは、被災地を含む全国各地でパラリンピック聖火の元となる火を採火また、8月20日に都庁で開催した「東京都の火」集火式において、会場を東北の被災三県ゆかりのもの（岩手県の大漁旗、宮城県の七夕飾り、福島県産の花き）で装飾し、復興への想いを発信

聖火リレートーチの素材には復興仮設住宅のアルミ建築廃材を再利用  
聖火台の燃料には福島県浪江町で製造された水素を活用

- ・「みんなの東京 2020 応援チャンネル」において、被災地で活動する団体による多様なパフォーマンス等を動画で配信

### ○ パラリンピック期間中の取組

- ・オリンピックスタジアム横の聖徳記念絵画館前に設置した「東京 2020 復興のモニュメント」により、パラリンピック期間中も引き続き「復興オリンピック・パラリンピック」を発信  
(8月27日には、パーソンズ会長もモニュメントを訪問)
- ・選手に贈られるビクトリーブーケに被災地産の花を活用
- ・選手村ビレッジプラザの建築素材として、被災地産の木材を活用  
また、選手村食堂では被災地産の食材も提供
- ・MPCと東京スポーツスクエア（TSS）に、被災地の復興情報を発信するブースやパネルを設置  
MPCブースには、期間中に352名のメディアが来場  
9月3日には、東京都メディアセンターで復興オリンピック・パラリンピックに関するブリーフィングを実施

# 多言語による情報配信

## 【オリンピックに向けた取組】

### ○ 経過・トピック

#### 1 概要

- ・組織委員会と連携し、総務省の技術協力を得て、大会期間中「おもてなしガイドアプリ」を活用して、会場にいる日本語が分からない方や音が聞こえにくい方に向けてアナウンス等を多言語で文字配信  
(日・英・中(繁・簡)・韓・西・仏の7言語)
- ・海外観客の受入見送り、無観客が決定したが、一部の有観客及び会場にいる選手、大会関係者向けに実施

#### 2 多言語による情報配信に関する周知活動

2021年4月27日 組織委員会プレスリリース

2021年7月15日 東京都プレス発表

開閉会式直前に、シェフデミッション、オリンピックファミリーホテル、選手村のサービスセンターフロントデスク、各住居棟のロビーにてオリンピックファミリーや選手向けに周知(紹介パネル掲出、アプリQRコード配布等)

#### 3 実施内容(文字配信内容)

- ①開会式・閉会式における式典内容の解説 @オリンピックスタジアム  
式典の進行にあわせて出演者や演目の背景について、専用端末に事前登録した日本語文を自動翻訳して文字配信
- ②MCアナウンスの内容 @38競技会場  
日本語のMCアナウンス音声から日本語文を生成したものを自動翻訳して文字配信
- ③競技の進行状況配信 @夢の島アーチェリー場、武蔵野の森総合スポーツプラザ、馬事公苑、東京体育館  
会場内アナウンスだけでは情報量が少ない競技(アーチェリー、バドミントン、馬術、卓球の計51セッション)の進行状況を学生(※)が専用端末から日本語文字入力したものを自動翻訳して文字配信  
※組織委員会の大学連携事業に参加した学生(延べ96名)
- ④緊急時の案内 @38競技会場  
地震等緊急時の定型案内を多言語で文字配信★  
※緊急事態が発生しなかったため大会期間中の実績なし
- ⑤その他 @静岡県会場、宮城県会場  
有観客会場のみ、次の場面で定型案内を多言語で文字配信
  - ・観客スクリーニングエリア周辺の案内★
  - ・競技会場内の案内(観戦の注意事項等)★

★東京都がR1、2に整備した定型案内を一部使用

## ○ 総括

### 1 結果等

◆定型文案内は事前に翻訳しているため正確な文字配信ができるが、自動翻訳を用いた文字配信は、文字入力に基づく場合は比較的翻訳精度が高かったが、音声入力に基づく場合は、翻訳精度が低い傾向があった。

◆利用者(日本人)の反応は以下のとおり。外国人等からも今後意見集約予定。

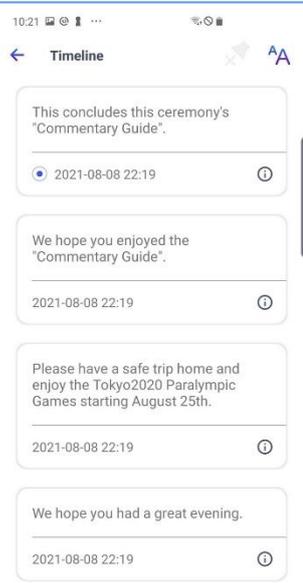
・開閉会式では、会場で演目の説明が少なく、何が行われているのか分からないことがあったが、アプリの文字配信により進行にあわせて出演者や演目内容を知ることができた。

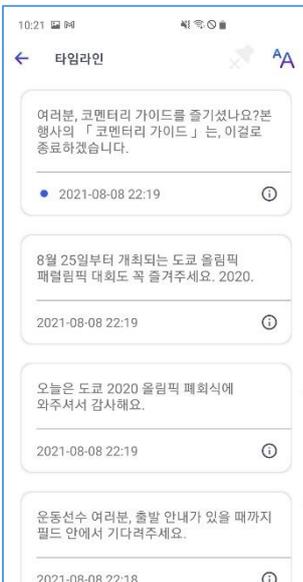
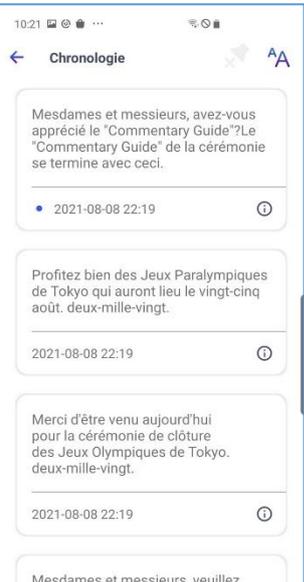
・競技の進行状況配信では、選手の紹介や試合展開、競技ルールの解説などの情報配信があり、より競技を楽しむことができた。

(詳細説明)

・専用端末を使用した文字入力に基づく自動翻訳(①、③)は、日本語文が比較的正確なので翻訳精度が高く、問題無く文字配信ができた。

### ①閉会式の文字配信内容(自動翻訳)

 <p>本セレモニーの「コメンタリーガイド」は、これにて終了とさせていただきます。</p> <p>みなさま、「コメンタリーガイド」をお楽しみいただけましたでしょうか。</p> <p>8月25日より開催される東京2020パラリンピック大会も是非お楽しみください。</p> <p>本日は東京2020オリンピック閉会式にお越しいただきありがとうございました。</p>	 <p>This concludes this ceremony's "Commentary Guide".</p> <p>We hope you enjoyed the "Commentary Guide".</p> <p>Please have a safe trip home and enjoy the Tokyo2020 Paralympic Games starting August 25th.</p> <p>We hope you had a great evening.</p>	 <p>各位，《評論指南》過得愉快嗎？本次儀式的《評書指南》到此結束。</p> <p>請一定要欣賞8月二十五日開始舉辦的東京二零二零殘奧會。</p> <p>感謝您今天來參加東京二零二零奧林匹克閉幕式。</p> <p>各位運動員，在有出發通知之前，請在場內等候。</p>	 <p>各位，《評論指南》過得愉快嗎？本次儀式的《評書指南》到此結束。</p> <p>請一定要欣賞8月二十五日開始舉辦的東京二零二零殘奧會。</p> <p>感謝您今天來參加東京二零二零奧林匹克閉幕式。</p> <p>各位運動員，在有出發通知之前，請在場內等候。</p>
日本語	英語	中国語(繁体)	中国語(简体)

 <p>여러분, 코멘터리 가이드를 즐기셨나요? 본 행사의 「코멘터리 가이드」는, 이걸로 종료하겠습니다.</p> <p>8월 25일부터 개최되는 도쿄 올림픽 패럴림픽 대회도 꼭 즐겨주세요. 2020.</p> <p>오늘은 도쿄 2020 올림픽 폐회식에 와주셔서 감사해요.</p> <p>운동선수 여러분, 출발 안내가 있을 때까지 필드 안에서 기다려주세요.</p>	 <p>La "Guía de comentarios" de esta ceremonia termina con esto.</p> <p>Espero que todos hayan disfrutado de la Guía de comentarios.</p> <p>Por favor, también disfrute de los Juegos Paralímpicos de Tokio del veinticinco de agosto, dos mil veinte.</p> <p>Gracias por venir a la ceremonia de clausura de los Juegos Olímpicos de Tokio dos mil veinte.</p>	 <p>Mesdames et messieurs, avez-vous apprécié le "Commentary Guide"? Le "Commentary Guide" de la cérémonie se termine avec ceci.</p> <p>Profitez bien des Jeux Paralympiques de Tokyo qui auront lieu le vingt-cinq août, deux-mille-vingt.</p> <p>Merci d'être venu aujourd'hui pour la cérémonie de clôture des Jeux Olympiques de Tokyo, deux-mille-vingt.</p>
韓国語	スペイン語	フランス語

・事前登録した日本語文を自動翻訳するため、各言語への翻訳精度が高い。

・式典の進行に合わせて文字配信されるので、演目内容を確認しやすい。

▼閉会式で大竹しのぶさんが登場したシーンの配信画面

1人の女性が子どもたちに歌を教える姿は、大会のテーマでもある「次世代の継承」ともリンクし、次の世代にこの経験が受け継がれ、未来が明るいものであるように願いを込めています。

### ③競技の進行状況文字配信内容（自動翻訳）

<p>演技終了です。 選手入場です。 スイスチーム選手の演技です。 演技開始です。 フェリックス選手はリオデジャネイロオリンピックにも出場しました。</p> <p><b>日本語</b></p>	<p>The performance is over. Players enter. It is a performance of a Swiss team player. The performance is starting. Felix also participated in the 2016 Summer Olympics.</p> <p><b>英語</b></p>	<p>表演結束了。 是選手入场。 是瑞士队选手的表演。 开始表演。 费利克斯选手也参加了2016年夏季奥林匹克运动会。</p> <p><b>中国語（繁体）</b></p>	<p>表演结束了。 是选手入场。 是瑞士队选手的表演。 开始表演。 费利克斯选手也参加了2016年夏季奥林匹克运动会。</p> <p><b>中国語（簡体）</b></p>
<p>연기 종료예요. 선수 입장이에요. 스위스 팀 선수의 연기예요. 연기 개시예요. 헨마크왕자 펠릭스 선수는 2016년 하계 올림픽에도 출전했어요.</p> <p><b>韓国語</b></p>	<p>Terminó la actuación. Los jugadores entran. Es la actuación del jugador del equipo suizo. Empieza la actuación. Felix también participó en los Juegos Olímpicos de Río de Janeiro.</p> <p><b>スペイン語</b></p>	<p>La performance est terminée. C'est l'entrée des joueurs. C'est la performance des joueurs de l'équipe suisse. La performance commence. Felix a aussi participé au Jeux olympiques d'été de 2016.</p> <p><b>フランス語</b></p>	<p>・競技の進行にあわせて学生が日本語で文字入力しており、各言語への翻訳精度が高い。 ・選手の紹介や競技ルールの解説等も得られるので、競技をより楽しむことができる。</p> <p>▼馬術の配信画面 競技進行にあわせてルールを説明</p> <p>全ての障害物を落下させても設置箇所ごとの減点なので一箇所ごとに減点4点です。 2021-08-04 19:47 ⓘ</p> <p>反抗しても、飛び直すことは可能です。 2021-08-04 19:58 ⓘ</p> <p>馬が障害物前で飛ぶのを嫌がると反抗となり減点4点です。 2021-08-04 19:57 ⓘ</p>



馬事公苑での競技進行状況配信の様子

- ・音声入力に基づく自動翻訳（②）は、音声認識により生成される日本語文の正確性に翻訳精度が左右された。
- ・MCアナウンスは、音声小さい場合や話し方のクセ（英語混じり等）、人名がある場合、正確な日本語文を生成できず翻訳精度が低かった。

### ②MCアナウンスの文字配信内容

#### 福島あずま球場の日本語MCアナウンス(音声) (女子ソフトボール)

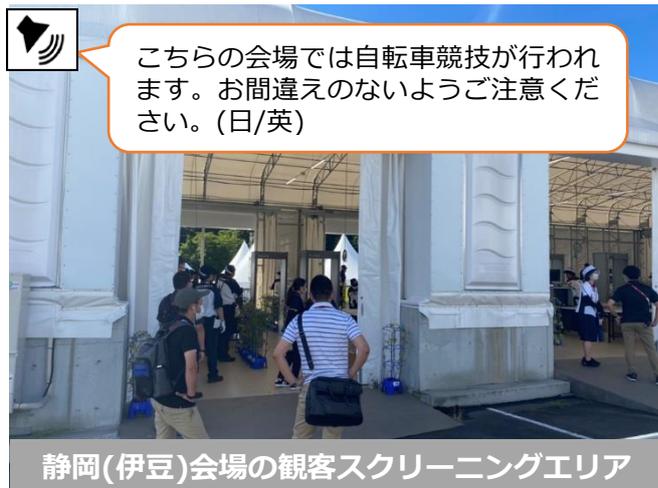
監督 レイン・ハロー、コーチ ネーサン・ジョーンズ、アンドルー・カークパトリック  
この試合の審判員をご紹介します。  
プレートアンパイア、日本 クサモト・ミツノリ、塁審、ファーストベース ニューゼaland ポルテオス・マーク、セカンドベース カナダ ガードロー・ジェネビエ、サードベース 中国 ユウ・ジーリン、副審、オランダ プリンス・マリアンナ、日本 ササジマ・アヤカ  
ただ今より両国国歌の演奏を行います。ご協力いただける方はご起立ご脱帽のうえ、国旗にご注目ください。

#### MCアナウンスから音声認識により生成された日本語文

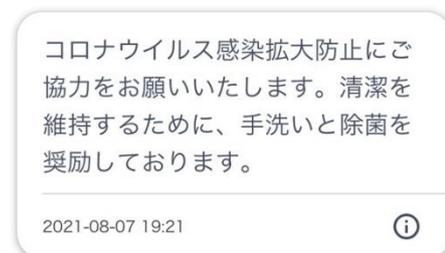
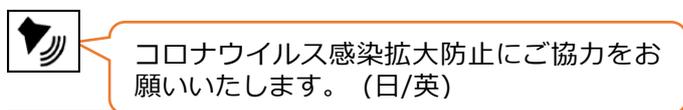
監督コーチ、この試合の審判員をご紹介します。  
プレートアンパイア日本草本道のり累進ファーストベースニューゼalandセカンドベース体サードベース中国副審オランダベルギーただいまより両国国歌の演奏を行います。  
ご協力いただける方はご起立ご脱帽の上くっきりご注目ください。

※人名は殆ど認識できなかったため、日本語文としても分かりにくい文章になった。

- ・定型文案内（⑤）は、事前に翻訳しているため正確な文字配信ができた。
  - ・観客スクリーニングエリア周辺の案内
  - ・競技会場内の案内（観戦の注意事項等）



アプリ画面(英、中(繁/簡)、韓、西、仏でも表示可)



入場には、飲食時を除きマスクの着用が条件となっております。  
アプリ画面(英、中(繁/簡)、韓、西、仏でも表示可)

## 2 不具合対応等

### <機材等の不具合>

- ・有明アリーナでは、配信機材の電源が切断されたため、途中からMCアナウンスの文字配信を停止した。(大会期間中は、競技進行の妨げになるため会場での復旧作業が出来ず配信を停止した。)
- ・一部の会場で、日本語マイクが英語マイクに入れ替わっており、初日のMCアナウンスの文字配信ができなかった。配信機材の設定を変更して対応済み。

### <音声認識>

- ・音声認識ができない(日本語文の生成ができない)部分は、自動翻訳も正確にできなかった。特に選手名などの固有名詞を認識できない場合が多く、技術課題として総務省に報告済み。

## 【パラリンピックに向けた取組】

### ○ 移行期間中における対応の事例

#### 1 配信機材の撤去及び再設置

オリンピック@38 競技会場からパラリンピック@21 競技会場に縮小されるため、各会場のスケジュールに合わせて、配信機材を撤去。また、競技会場内のレイアウトがパラリンピック競技仕様に変更されるため、それに合わせて配信機材を再設置。

### ○ パラリンピック期間中の取組

#### 1 概要

- ・組織委員会と連携し、総務省の技術協力を得て、大会期間中「おもてなしガイドアプリ」を活用して、会場にいる日本語が分からない方や音が聞こえにくい方に向けてアナウンス等を多言語で文字配信（日・英・中（繁・簡）・韓・西・仏の7言語）
- ・海外観客の受入見送り、無観客が決定したが、会場にいる選手、大会関係者向けに実施

#### 2 多言語による情報配信に関する周知活動

2021年4月27日 組織委員会プレスリリース

2021年7月15日 東京都プレス発表

(選手向け)

開閉会式直前に、シェフデミッション、選手村のサービスセンターフロントデスクでチラシ配布。選手用マーチングパス配布時にチラシを封入

(P F向け)

パラリンピックファミリーホテルでチラシ配布、IPCへメールで周知

(海外要人向け)

閉会式案内時にメールで周知

(国内要人向け)

閉会式案内時にメールで周知、帝国ホテルでチラシ配布、移動中のバス車内で説明実施



#### 3 実施内容（文字配信内容）

①開会式・閉会式における式典内容の解説 @オリンピックスタジアム

式典の進行にあわせて出演者や演目の背景について、専用端末に事前登録した日本語文を自動翻訳して文字配信

②MCアナウンスの内容 @21 競技会場

日本語のMCアナウンス音声から日本語文を生成したものを自動翻訳して文字配信

③緊急時の案内 @21 競技会場

地震等緊急時の定型案内を多言語で文字配信★

※緊急事態が発生しなかったため大会期間中の実績なし

★東京都がR 1、2に整備した定型案内を一部使用

○ 総括

1 結果等

◆文字入力に基づく自動翻訳は比較的翻訳精度が高かったが、音声入力に基づく場合は、翻訳精度が低い傾向があった。

◆利用者(日本人)の反応は以下のとおり。外国人等からも今後意見集約予定。

・開閉会式では、会場で演目の説明が少なく、何が行われているのか分からないことがあったが、アプリの文字配信により進行にあわせて出演者や演目内容を知ることができた。

2 不具合対応等

<機材等の不具合>

・一部の会場で、日本語マイクが英語マイクに入れ替わっており、初日のMCアナウンスの文字配信ができなかった。配信機材の設定を変更して対応済み。

<音声認識>

・音声認識ができない(日本語文の生成ができない)部分は、自動翻訳も正確にできなかった。特に選手名などの固有名詞を認識できない場合が多く、技術課題として総務省に報告済み。